

取扱説明書

Sara Plus



警告

怪我を避けるため、製品を使用する前に必ず本取扱説明書及び付属の文書をよくお読みください。



本取扱説明書を必ずお読み下さい

意匠方針と著作権

® および ™ は Arjo グループ会社に属する商標です。

© Arjo 2022.

当社は方針の一つとして、継続的な製品改良を掲げており、事前の通知なしに設計・デザインを変更することがあります。本書の内容の全部あるいは一部を Arjo の同意なしに複写することはできません。

目次

はじめに	2
使用目的	3
安全に関する注意事項	4
準備	5
初めて使用するにあたって（4つのステップ）	5
毎回の使用にあたっての確認事項（4つのステップ）	5
患者間	5
Sara Plus 寸法	5
部品名称	6
製品説明	7
制御および特性	7
Sara Plus で使用可能なスリング	9
コモードシート（オプション）	10
Sara Plus の使用方法	11
一般	11
Sara Plus と患者の準備（7ステップ）	11
立位スリングを使用した移乗方法（14ステップ）	12
移乗／歩行スリングを使用した移乗方法（16ステップ）	14
移乗／歩行スリングを使用した歩行訓練方法（12ステップ）	16
体重計「Arjo スケール」（オプション）	17
バッテリー使用上の注意	18
バッテリー放電インジケータ	18
バッテリーの充電方法（9ステップ）	19
洗浄と消毒	20
点検・保守及びメンテナンス	22
予防保守計画	22
トラブルシューティング	24
技術仕様	26
寸法	28
Sara Plus のラベル	29
電磁両立性	31

はじめに

Arjo 製品をご利用いただき、ありがとうございます。

お問い合わせ先について

本製品、部品供給、保守に関するご質問、あるいは Arjo 製品ならびにサービスに関する補足情報は、Arjo 事業所もしくは Arjo 代理店にお問い合わせいただくな、www.arjo.com/ja-jp/をご覧ください。

Sara Plus のご使用前に、本取扱説明書を必ず読み理解してください

本取扱説明書の情報は、製品の正しい取扱いと保守を行う上で必要になります。取扱説明書は、製品性能の保護と、お客様が製品から最大限の満足を得る目的に作成されています。本取扱説明書には患者と介助者の安全にとって重要な情報が含まれているため、怪我を避けるためにも一読して理解してください。

承認を受けずに行った Arjo 製品の改造は、安全性を損なう恐れがあります。承認を受けずに行った製品の改造が原因で発生した事故、未遂事故、製品不具合について、Arjo は責任を負いません。

サポート

長期にわたり製品の安全性、信頼性、価値を最大限に引き出せるように、総合的なサポートと保守に関する詳細情報については、Arjo 事業所までお問い合わせの上、ご相談ください。サービス部品については、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。電話番号は本取扱説明書の最後のページに記載されています。

重大な事象

医療機器もしくは福祉機器に関連して、お客様または患者に影響する重大な事象が発生した場合、ユーザーまたは利用者は、その重大な事象を機器製造元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、全てのユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告する義務があります。

本取扱説明書の定義

警告



この警告に従わなければ、傷害事故を招く恐れがあることを意味します。

注意

これらの指示に従わなければ、システムや設備機器の全部、またはその一部が破損する恐れがあることを意味します。

注記: これは本システムまたは設備機器を正しく使用する上で重要な情報です。

使用目的

Sara Plus の使用目的

Sara Plus は、例えば、患者／利用者のベッドからの立ち上がりや車椅子からの移乗、あるいは車椅子からトイレへの移乗といった短い距離の移乗をアシストするための起立・立位補助器です。フットボードやニーパッドを取り外し、歩行訓練などリハビリのための運動にも適しています。Sara Plus による移乗は、利用者／患者の居室、診察室、共用エリア、またはバスルームで行います。

Sara Plus は病院や介護施設、その他のヘルスケア施設でさまざまなカテゴリーの利用者や患者向けに使用することを意図した製品です。

Sara Plus は、トレーニングを受け、継続的に患者／利用者に付き添っている介助者が、取扱説明書に記載されている内容に従って取り扱ってください。

Sara Plus は、特別に設計された Arjo スリングを使用してください。

移乗に移乗／歩行スリングを使用する場合、安全耐荷重は 140 kg (308 lbs) です。歩行訓練のために同スリングを使用する場合、安全耐荷重は 190kg (420lbs) です。

Sara Plus は取扱説明書で規定された用途にのみ使用してください。それ以外の使用は禁止します。

患者の評価

Sara Plus を使用する前に、利用者／患者の健康状態および適性に関して、有資格者が包括的な臨床評価を実施する必要があります。

Sara Plus は、以下に該当する利用者／患者に使用することを前提としています。

- 車椅子に座っている
- 少なくとも片方の脚で体重を部分的に支えられる
- 安定した座位保持が出来る
- 多くのケースにおいて介助者を必要としている
- 可動性維持の立位訓練を必要としている

EPS（追加姿勢サポート）／BOS スリング（ヒップサポート立位補助スリング）と組み合わせて使用し、持ち上げと移乗のみの目的に限定して使用する場合、Sara Plus は、以下に該当する利用者／患者を対象とします。

- 車椅子に座っている
- 多くのケースにおいて介助者を必要としている

利用者／患者が上記に当てはまらない場合は、別の製品／システムを使用してください。



注意：Sara Plus およびそのアクセサリーは、高い水準で製造されていますが、長期間にわたって高湿度または湿った場所に放置しないようにしてください。

いかなる状況（シャワー時など）においても、Sara Plus やアクセサリー（スリングを除く）に決して水がかからないよう十分に注意してください。

耐用年数

耐用期間は、製造業者が想定した使用可能な最大期間です。

Sara Plus の想定製品寿命は、以下の条件を遵守することを前提として、製造日から 10 年です。

- 本製品は、「清掃と消毒」および「ケアと予防メンテナンス」に従って管理、点検整備してください。
- 本製品は、既刊の「メンテナンス計画」の規定に沿ってのみ最低要件を満たすものとします。
- 本ユニットのサービスおよび製品ケアは、Arjo の要件に従い、お客様が本ユニットを最初に使用する時点で開始する必要があります。

スリングの想定寿命については、各スリングの取扱説明書を参照してください。

バッテリー、ヒューズ、シールキット、シートインサート、安全ベルト、パッド付きカバー、ストラップ、コードなどの消耗品の想定寿命は、機器の管理状況や使用方法によって異なります。消耗品は、「清掃と消毒」および「ケアと予防メンテナンス」に従って保守する必要があります。

本製品が損傷したときは、使用できません。

安全に関する注意事項



警告：Sara Plus を使用する前に、資格を持つ医療専門職の方が、患者の臨床評価を実施する必要があります。



警告：本製品は、適切な訓練を受け、取扱説明書を読んで理解した介助者の方々のみ操作してください。



警告：本製品には、リフトを操作する上で非常に重要な部品があるため、定期的な点検およびメンテナンスを行ってください。また、場合によっては部品交換を行ってください。点検・保守のセクションをご覧ください。



警告：移乗/歩行スリングを使用して移乗する場合、最大持ち上げ能力は 140kg (308lbs) です。歩行練習のため同スリングを使用する際、最大持ち上げ能力は 190kg (420lbs) です。以上の重量制限を超えないでください。



警告：重傷を避けるため、Sara Plus を使用している間は、患者のリーチ・傾斜運動を制限する必要があります。



警告：本取扱説明書の「製品の詳細・機能」に記載されているSara Plus の様々な制御および機能に慣れて理解し、患者をリフトする前に必ず指定の処置や検査確認をすべて行うようお勧めします。

Sara Plus のセットアップ、使用あるいはメンテナンスにサポートが必要な場合、あるいは使用中に予想外の動作を経験した場合、最寄りの Arjo 代理店にご連絡ください。本取扱説明書の裏表紙の内側にリストが掲載されています。



警告：この製品には、子供が飲み込んだり、吸引したりすると、窒息の危険性がある小さな部品が含まれています。

子供やペットを製品に近づけないでください。



警告：ハンドコントロールケーブルは患者に絡まる危険があります。これを防ぐために必要とされるあらゆる措置を講じてください。



警告：介助者は、ハンドコントロールのコネクタと患者に同時に触れないようにしてください。

準備

初めて使用するにあたって（4つのステップ）

1. 梱包内容に損傷がないか、目視で確認します。輸送によって製品本体が損傷していた場合、直ちに運送会社にお問い合わせください。この製品を使用しないでください。
2. 梱包材は地方自治体の法令に従ってリサイクルしてください。
3. 本取扱説明書を必ずお読みください。
4. 本取扱説明書がいつでも容易に参照できる指定された場所に保管してください。
5. 付属のバッテリーパックを開梱して完全に充電します。「バッテリー充電」のセクションを参照してください。

毎回の使用にあたっての確認事項 (4つのステップ)

1. *Sara Plus* を目視点検します。いずれかの部分が破損している場合は製品を使用しないでください。
2. バッテリーの残量をチェックします。
3. マストの裏側にある緑色のリセットボタンを必ず押してください。
(7ページ「部品名称」セクションの図2を参照)
4. システム故障時の緊急下降ノブが時計方向にいっぱいに回されていて、適度に締め付けられていることを確認してください。

患者間

「清掃および消毒」セクションに従って、製品を清掃および消毒してください。

Sara Plus 尺法

右と左

Sara Plus には右側と左側があります。（図1参照）

移動方向

介助者は移乗中、*Sara Plus* の後方に立ってください。（図1参照）

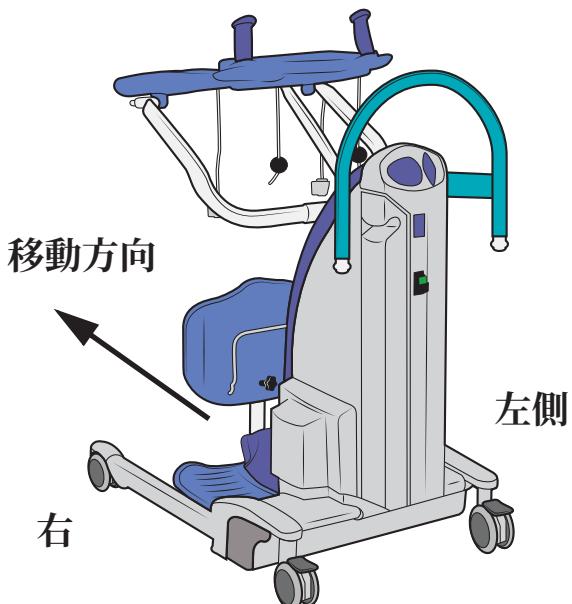
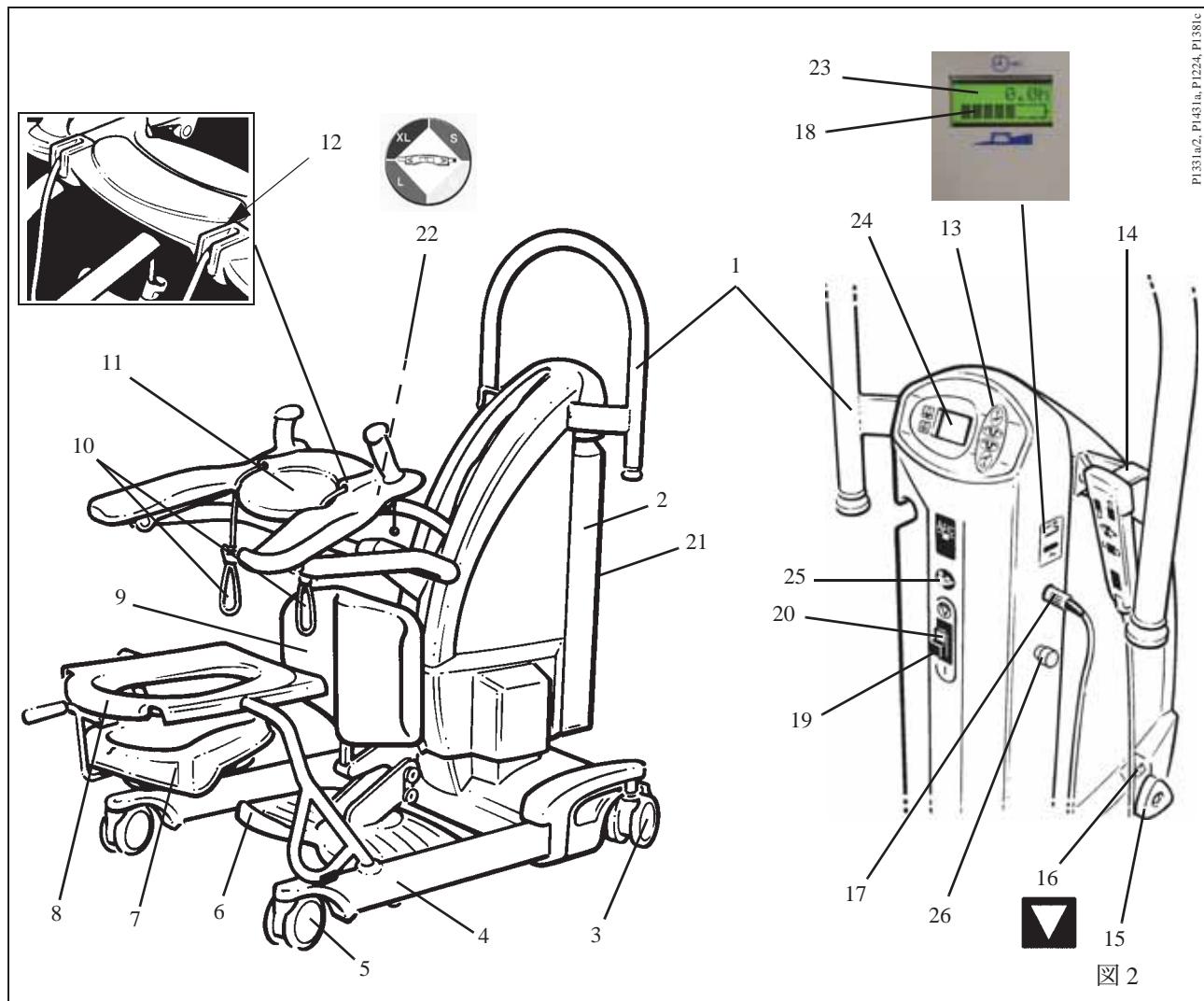


図1

部品名称

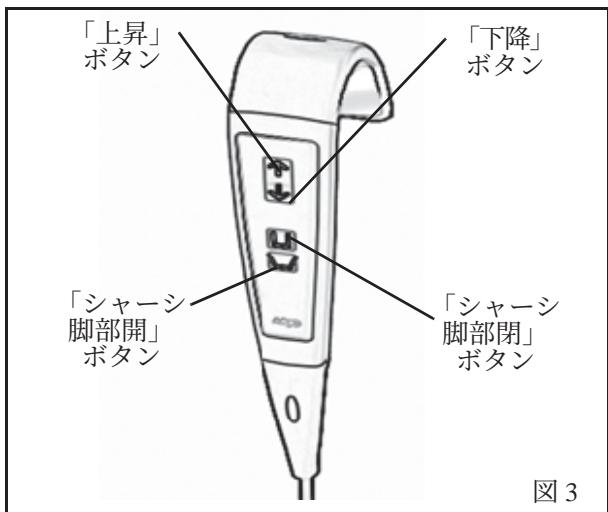


1. 操作ハンドル
2. バッテリー
3. ブレーキ付きキャスター（後部）
4. シャーシ脚部
5. フロントキャスター（ブレーキなし）
6. フットサポート（着脱式）
7. コモードパン（オプション）
8. コモードシートとフレーム（オプション）
9. プロアクティブパッド「Proactive Pad™」（調節可能）
10. 取付コード（スリング用）
11. アーク・レスト「Arc-Rest™」（ハンドグリップ付きサポートアームレスト）
12. コードロック止めの詳細図
13. デュアルコントロールパネル
14. ハンドコントロール
15. システム故障時の下降オーバーライド
16. ラベル - システム故障時の緊急下降説明図
17. ハンドセットケーブル接続
18. バッテリー放電インジケータ
19. 電源オン/リセットボタン（緑）
20. 電源オフボタン（赤）
21. ラベル - 使用前に、取扱説明書をお読みください
22. ラベル - スリング サイズガイド
23. 時間/サイクルメータ
24. 体重計ディスプレイパネル（オプション）
25. ラベル - 使用前に、取扱説明書をお読みください
26. 緊急停止ボタン

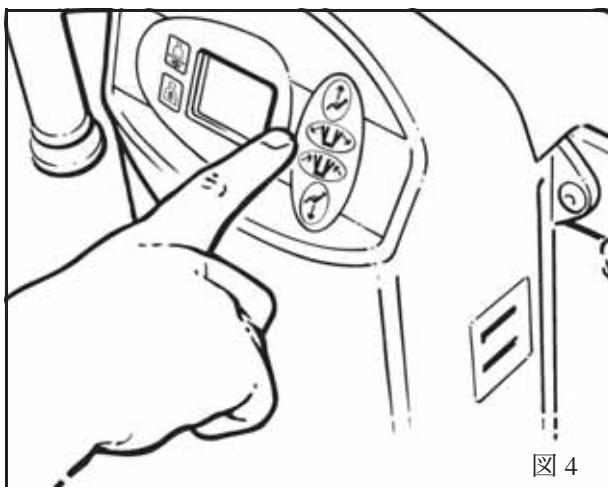
製品説明

制御および特性

ハンドコントロール：- リフトには拡張ケーブルでハンドコントロールを取り付けることができます。ハンドセットは上昇と下降およびシャーシ脚部の開/閉をコントロールします。ボタンの隣にある矢印は、各機能を示します。（図3参照）
使用中にボタンから手を離すと、電動動作が停止します。



デュアルコントロールパネル：- リフト本体の上部にハンドセットと同じ機能のボタンが配置されています。（図4参照）



緊急停止ボタン（赤）：- 非常に電動動作を直ちに停止する必要がある場合、（ハンドセットあるいはデュアルコントロールパネルのボタンをリリースする場合を除き）、サイドカバーにある緊急停止ボタンを押してください。

緊急停止ボタンを押したら、電源を復帰させる前に、スプリングバックするまで赤いキャップを回転してリセットする必要があります。

電源オン/リセットボタン（緑）：- デュアルコントロールパネルの下のケースの後部にあります。このボタンを押して、リフトの電源をオンにします。また、自動過負荷ヒューズが作動した場合にも、このボタンを使用してリセットできます

（ボタンはわずかに外側に突き出した格好になります）。ヒューズが作動して一度リセットされたにもかかわらず、再度作動する場合は、リフトの使用をやめて Arjo サービス部門か指定の販売代理店までご連絡ください。

電源オフボタン（赤）：- デュアルコントロールパネルの下のケースの後部にあります。このボタンを押して、リフトの電源をオフにします。

自動遮断：-（操作者による制御ではなく、リフト電子機器に機能が埋め込まれている。）

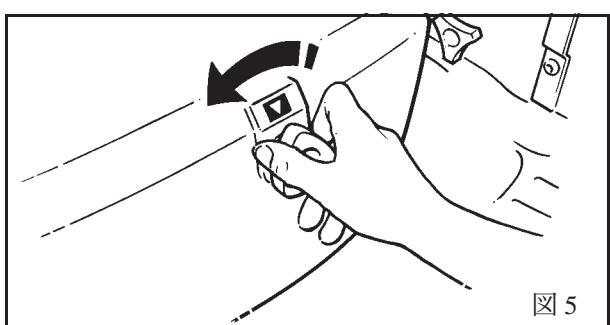
Sara Plus が過負荷状態（不注意に許容限界を上回る体重の患者を持ち上げた場合など）になった場合、自動「カットオフ」機能により、上昇動作は自動的に停止します。「Overload」が時間 / サイクルメータで発生し、ボタンが押されている限り、ブザーが 1 秒ごとに 2 回鳴ります（ビープ音が 2 回以上鳴ります）。過負荷が発生した場合、4 秒間は、同方向に動作を開始することはできません。

この状態が発生した場合、ハンドセットかデュアルコントロールの上昇ボタンから手を離すと、電子機能はリセットされます。「Overload」は時間 / サイクルメータから消えます。このとき、下降ボタンを押すと、患者を下降できます。患者をリフトから降ろします。

自動停止機能：- アーク・レスト(Arc-Rest)を患者やその他の障害物に下降しないよう十分注意してください。このような事態が不注意で発生した場合、モーターは動作を続けますが、下降動作は停止します。この場合、「下降」ボタンから直ちに手を離し、障害物との隙間があくまで「上昇」ボタンを押してから障害物を取り除きます。

過熱防止：- 操作職員がマストアクチュエータのデューティサイクル（2 分 / 18 分）を超える操作を行なうと、ブザーが 15 秒ごとに鳴って「Overheat」（過熱）が時間 / サイクルメータに表示されます。動作は可能です。この機能によりアクチュエータが破損するのを防止できます。

システム故障時の下降機能：- メインコントロールが故障した場合に使用します。ハンドコントロールまたはデュアルコントロールパネル機能でリフトを操作できなくなることは、まずありません。しかし、万が一、患者がスリングに支えられている状態でこのような事態が発生した場合は、メインカバーの右側にある「緊急下降レバー」を使って下降できます。スイッチの上にあるラベル。（図5 参照）



製品説明

システム故障時の降下方法（2ステップ）



警告：「緊急下降」を作動させて患者を下降させる前に、患者を下す椅子の準備ができていることをまず確認してください。

1. 緊急下降を作動させるには、ノブを反時計回りに半回転させます。（図5参照）
2. 下降をやめるには、ノブを時計回りに回します（きつく締めすぎないでください）。

このノブは、通常のコントロール障害が発生した場合にのみ使用してください。通常の降下時には使用しないでください。

「下降オーバーライド」は、緊急停止ボタンが作動している、していないに関わらず動作します。ジグの「自動停止機能」は、下降オーバーライドつまりを使用しているときでも作動します。

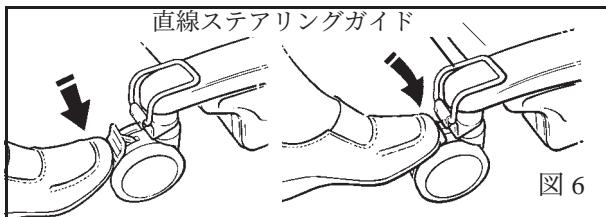
Sara Plus の通常利用時は、緊急降下のノブが時計方向に、適度に締め付けられていることを確認してください。

バッテリー放電インジケータ：- 液晶ディスプレーの下に小さなバッテリー記号があります。バッテリー記号は充電レベルを示します。

時間 / サイクルメータ：- ディスプレイの上の行は、上昇および下降操作の合計時間を表示しています。上昇および下降ボタンを押すことで、ディスプレイには同じ時間でのサイクル数も表示されます。この機能はサービス間隔を計算する上で役立ちます。

シャーシのキャスター刹车：- シャーシのリアキャスターには刹车がついており、必要に応じて操作できます。患者から目を離す場合やSara Plus を固定しておく際に利用してください。（図6を参照）

直線ステアリング機能：- 歩行訓練のためにSara Plusを使用する際は、真っ直ぐに走行するようキャスターの1つを固定すると便利です。これにより、Sara Plus を用いて最低限のアシストで患者を真っ直ぐ歩行させることが可能になります。ストレートラインステアリング機能は、リアキャスターのステアリングガイドを押し込むことで有効にできます。（図6を参照）



アーク・レスト（Arc-Restハンドグリップ付き）：

リフトのリフティング機構に組み込まれている、サポートアームレストにより、リフティング操作の間、患者は快適な姿勢を保つことができます。

フットサポート：- 持ち上げや移乗のときに患者の足を置きます。歩行補助装置を使用する前にSara Plus を使用して、患者を足元まで持ち上げる場合は、フットサポートを取り外すことができます。

フットサポートの取り外し（8ステップ）

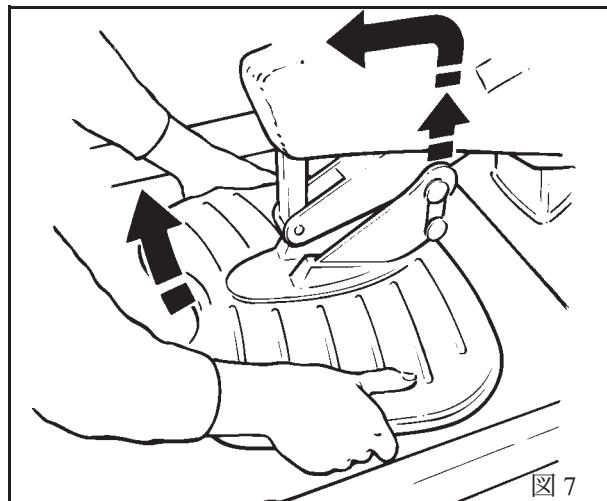
1. プロアクティブパッドを高い位置まで上げます。

注記：フックとループタイストラップ（取り付けられている場合）の片側を、フットサポートカバーの周囲から外し、カバーを膝サポートの上にスライドさせます。

2. シャーシ脚部の間から、フットサポートの両側をつかみます。
3. フットサポートの前半分を、フットサポートブラケットと接触するまで持ち上げます。
4. フットサポートが水平になるまで、フットサポートの後部を上に回転させます。
5. フットサポートがサポートブラケットから外れるまでフットサポートを手前に引きます。（図7参照）
6. 今後も使用できるよう大切に保管してください。
7. フットサポートカバーをスライドさせて所定の位置に戻し、フックとループストラップで固定します。
8. プロアクティブパッドを任意の良い位置になるよう再調節します。

フットサポートを再度取り付けるには、以上の手順を逆に実施します。

注記：フットサポートの2つのフックが2つのボタンの上にあることを確認してください。

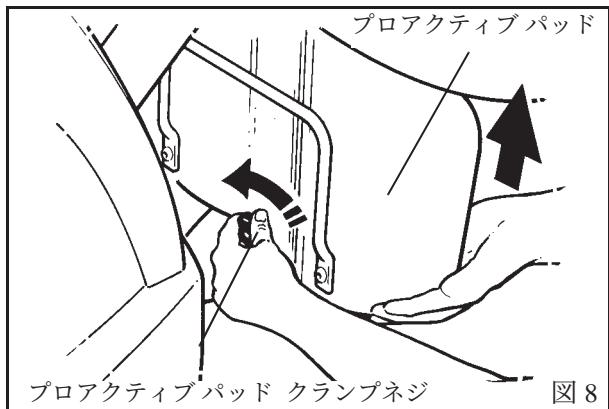


製品説明

プロアクティブパッド:- これは患者を快適かつ容易に持ち上げるための下腿サポートパッドです。下脚の長さに応じて垂直方向に調節でき、リフト操作中に患者の脚が急激に動かぬようスプリングが両脚を支えます。

プロアクティブパッドの調節方法（2ステップ）

- 片手でプロアクティブパッドを持ち、もう一方の手でクランプネジを緩めます。
- 適切な高さに調節したら、つまみを締め直します。（図8参照）

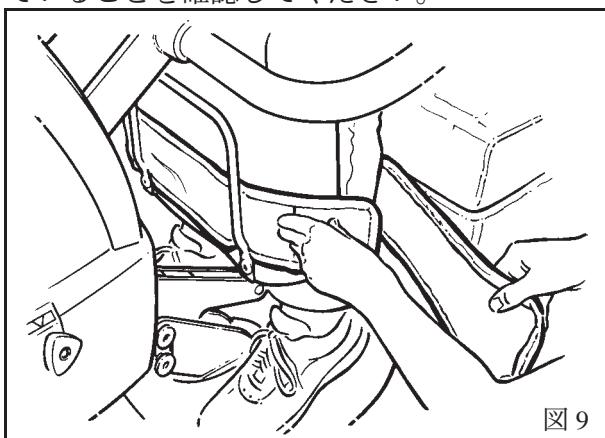


歩行訓練の際は、フットサポートを取り外した後、上へ持ち上げるだけでマウントから簡単に取り外すことができます。

下腿ストラップ（アクセサリー）:- 患者の下腿部をプロアクティブパッドに密着させて、持ち上げ作業を正しく実施するために使用するアクセサリです。ストラップは、プロアクティブパッドに沿って正しい位置に保たれます。

下腿ストラップの取付け方法（4ステップ）

- 下腿部ストラップをプロアクティブパッドの後ろにあるガイドに通します。
- 下腿ストラップを患者のふくらはぎの一方または両方に配置します。
- 下腿ストラップを巻き付けて抑え、面ファスナーで固定します。（図9参照）
- 下腿ストラップが快適にしっかりと装着されていることを確認してください。



幅調整型シャーシ脚:- リフトのハンドコントロールまたはデュアルコントロールパネル上有るボタンを操作することで、シャーシ脚部を様々な幅に広げることができます。（図10参照）
ボタンから指を放すと、動きが止まってシャーシレッグがその状態を保ちます。

注記: 移動はシャーシ脚部を閉じた状態で行ってください。出入口が通りやすくなります。

注記: *Sara Plus* は、脚の動作中に過負荷が検知されると、反対方向にわずかに動き、脚機構から張力を開放します。

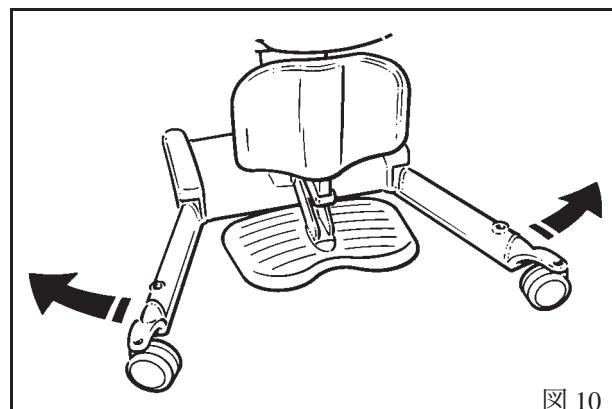


図10



警告: シャーシ脚部を閉じているとき、患者および/または操作職員は、脚やその他の体の部分をフットサポートとシャーシ脚部の間の領域に絶対に置かないでください。

体重計（オプション）:- *Sara Plus* が内蔵型体重計を装備している場合、リフティング操作時に患者の体重を測定することができます。

Sara Plus で使用可能なスリング

2種類のスリングが *Sara Plus* で使用できます。

立位用スリング- トイレにいる患者をサポートして、立ち上がりの動作をアシストするために使用するシングルループ。スリングには、快適なフリース製のカバーが付いており、クリーニング時は簡単に取り外せます。

- KKA5090 立位スリング
- KKA5120 立位スリング
- KKA5370 EPS/BOS 立位スリング
- KKA6000 Arjo ワイプ立位 C- フックスリング
- MFA4000 Flites

製品説明

移乗および歩行用スリング - 着脱式シートフレームを使用せずに患者に容易かつ快適に短い距離を移動させるために使用する、背中、臀部および脚部サポート付きループスリング。さまざまなアタッチメントストラップを使用することで、熟練の介護スタッフの立会いのもとで患者の立ち上がり、足踏みおよび歩行の訓練のサポートが一つのスリングで出来ます。スリングには可変調節機能が付いています。

- KKA5130M 移乗 / 歩行用スリング

コモードシート（オプション）

移乗用スリングで移動不可能な、チェアやベッドサイドでトイレをしている患者の場合、長い距離を移動する手段としてコモードシートおよびフレームの使用を推奨します。既述の方法で患者を立位姿勢あるいは立位に近い姿勢まで持ち上げたら、シャーシ脚部の穴にコモードフレームを挿入します。

(図 11 参照)

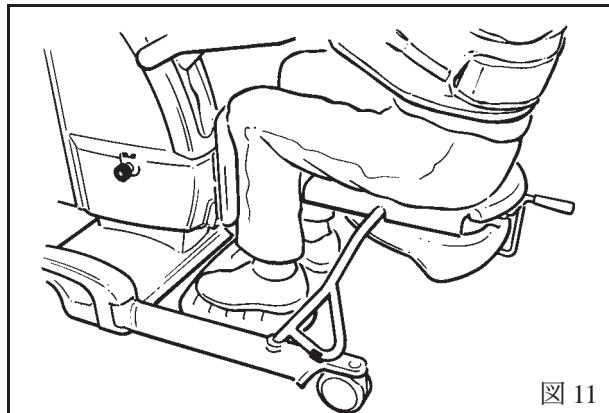


図 11

脱衣に付き添ってから、患者をコモードシートに降ろしてください。患者にスリングを装着したままにしてください。

シートの後ろからアクセスできる着脱式コモードパンが利用でき、患者をトイレの上に配置する際はスリングを取り外すことができます。患者から離れる場合は、シャーシにブレーキをかけてください。(図 12 参照)

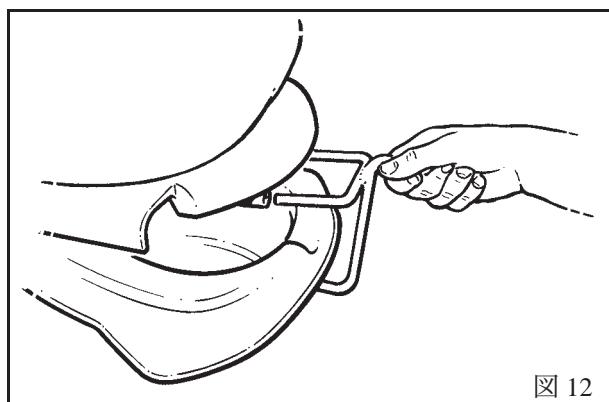


図 12

Sara Plus の使用方法

一般

取扱説明書では、「患者」は持ち上げられる個人、「介助者」はリフトを操作する個人を指します。本取扱説明書でのリフト操作は、患者をチェアから持ち上げる場合を想定して記述されていますが、車椅子からあるいはベッドでの座位姿勢から患者をリフトする際も同様の操作を効果的に実行できます。但し、患者が不安定な座位姿勢でいる場合、二人の介助者が患者をサポートするようにしてください。

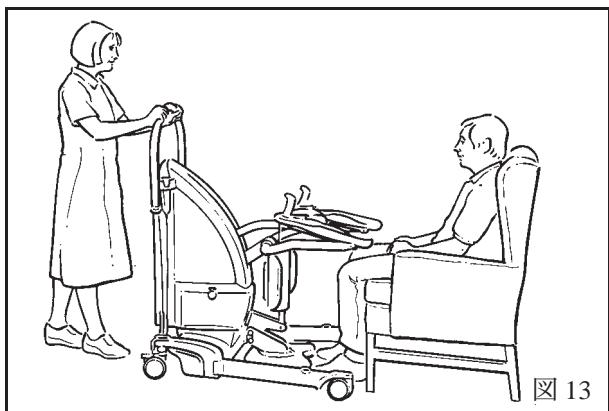
本取扱説明書内の操作はすべて、介助者がハンドコントロールを使用していることを想定して記述されています。既述されている各操作は、マストの後部にある、ハンドコントロールおよび/またはデュアルスイッチパネルを用いてコントロールできます。

各手順を開始する前に、介助者は常に次のことを行う必要があります。

- 今からする動作を、患者に事前に伝えてください。
- 適切なサイズとタイプのスリングを準備します。（「Sara Plus で使用可能なスリング」のセクションのスリングタイプの説明を参照してください。）
- Sara Plus を近くに配置します。

Sara Plus と患者の準備（7 ステップ）

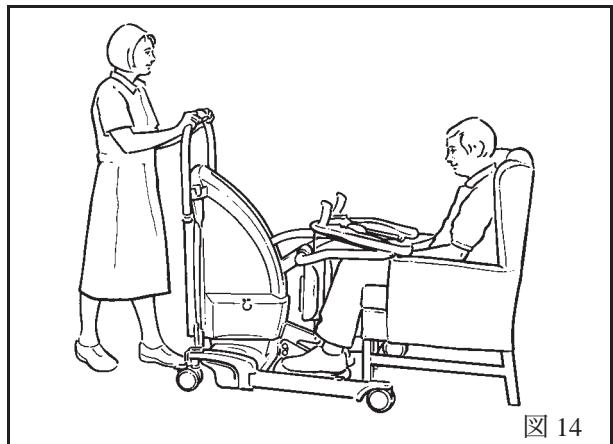
- 警告：**スリングを使用する際は、サポートストラップを常に装着させてください。
各スリングの取扱説明書に従って、スリングを選択および使用します。
- 患者の目の高さまで接近することのないように、患者の腕と障害物（チェアアーム等）の間に十分なスペースをとりながら、アーム・レストの高さを調節してください。
- 注記：**上昇あるいは降下の間、ハンドセットボタンあるいはデュアルコントロールボタンから手を離すと、電動の動作は直ちに停止します。
- リフトを患者の正面から接近させて、フットサポートとプロアクティブパッドが患者に触れる前に停止させます。（図 13 参照）



注記：必要に応じて、リフトのハンドコントロールあるいはデュアルコントロール上の適切なボタンを操作して、椅子や車椅子の邪魔にならないようシャーシ脚部を広げることができます。

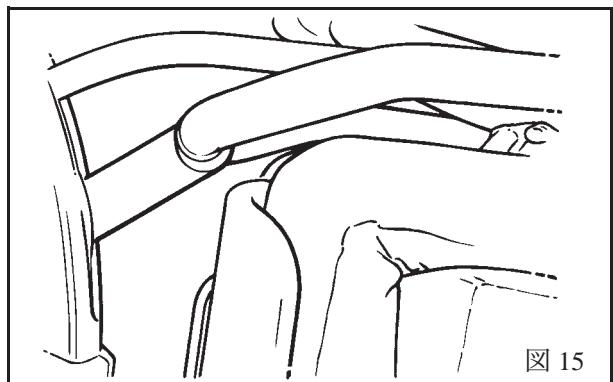
- 移乗：**患者の準備が整ったら、Sara Plus を患者に向かって少し押しながら、フットサポートに立てるよう患者を援助します。（図 14 参照）。

歩行：フットサポートをリフトから取り外し、今後の使用のために大切に保管します（「製品の詳細」のセクションを参照）。



- 警告：**患者の脚がパッドの近くにあるととき、あるいはパッドに接触しているとき、コード先端のつまみがプロアクティブパッドから離れていることを確認してください。

プロアクティブパッドの高さ調節（必要な場合）。患者が快適かどうかに基づいて、患者の膝蓋骨のすぐ下または若干上に、プロアクティブパッドの上部を合わせます。（図 15 参照）。



Sara Plus の使用方法

6. リフトを注意深く患者に近づけ、下肢全体をプロアクティブパッドにあてます。(図 16 を参照)

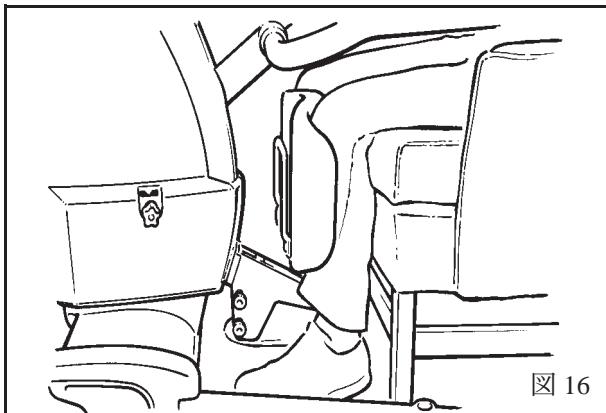


図 16

7. シャーシにブレーキをかけます。

立位スリングを使用した移乗方法 (14 ステップ)



警告：患者に下腿部ストラップのアセスマントを実施して、必要であれば装着してください。

1.



警告：コーンをカップセクションへしっかり取り付けます。(図 17 参照)

取り付けひもを順番にスリングに取り付けます。(図 17 参照)

ループロックコードアタッチメントシステムの取り付け

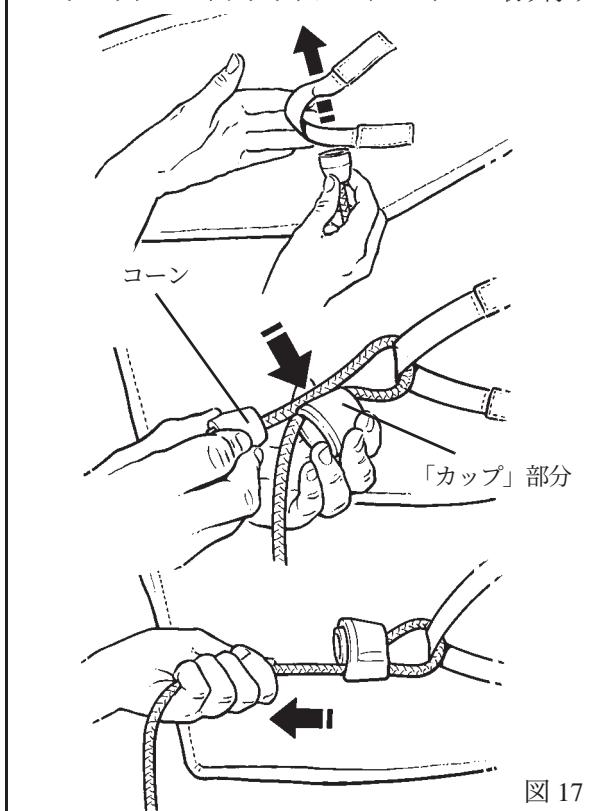


図 17

2. 両方のひもが正しく取り付けられている場合は、両方のコードを均等に調整して、それぞれのひもにたるみがなくなり、スリングの背面部分が患者を快適かつ確実に支えるようにします。

Sara Plus の使用方法

3. 取り付けコードをコードロック用止め具にロックしてください。(図 18 参照)

注記: 患者をスリングで支える必要がありますが、前方に引っ張りすぎないでください。(図 18 参照)

コードと止め具の詳細図

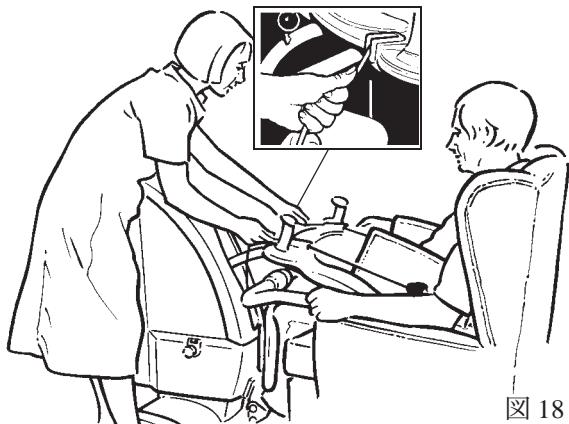


図 18

4. 可能であれば、患者に片手または両手でアーク・レストを握らせてください。(図 19 参照)

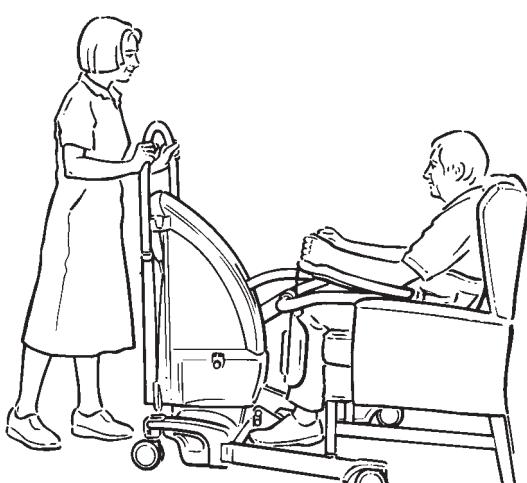


図 19

注記: 患者が片手でしかものを掴むことができない場合(「脳卒中」を患っている患者など)でも、Sara Plus を使用して持ち上げることができます。このような患者の場合、動かない腕をアーク・レストにのせるか、患者自身の胸に押し当て、肘をアーク・レストの先端に置いて、動く方の腕はハンドグリップを握らせてください。

5. 患者が立つ際に何らかの動作が行える場合、この動作は患者の自信と筋肉トレーニングの意味で有効になります。椅子から起き上がるため、あるいは自分自身を安定させるため、何らかの動作が行えるよう患者を励ましてください。

6.  **警告:** 持ち上げサイクル開始前および開始中は、取り付けコードと、取り付けコード上のクリップが適切な位置に固定され、患者の体重が徐々に掛かるにつれて引っ張られることを確認してください。

持ち上げサイクル開始前および開始中は、取り付けコードと、取り付けコード上のクリップが適切な位置に固定され、患者の体重が徐々に掛かるにつれて引っ張られることを確認してください。

7. ハンドセットまたはデュアルコントロールパネルの上昇ボタンを操作して、移動、トイレなどの特定機能を実施する上で最適かつ快適な高さまで患者を持ち上げます。(図 20 参照)

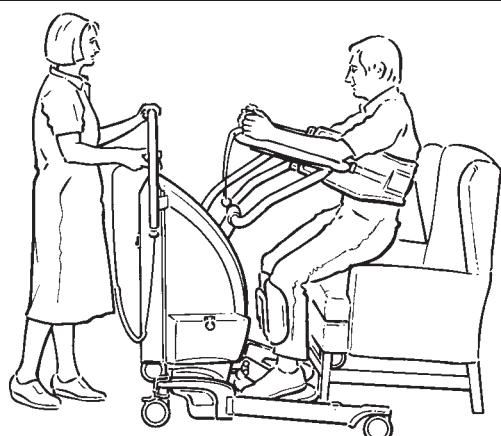


図 20

注記: 患者は完全に持ち上げられたとき、自分の膝を固定してしっかりと立位姿勢を保つことができます。このとき、膝はプロアクティブパッドから離れて、患者はスリングにもたれかかることができます。

8.  **警告:** 専門家による十分なアセスメントを患者に実施した後にのみこの方法あるいは別の方法を使用してください。

必要に応じて、着脱式シートフレームをシャーシ脚部の穴に挿入してから、トイレや長い距離の移動に適したシート位置まで患者を下降させてください。(図 21 参照)

注記: シートフレームに合わせるには、シャーシの脚部を閉位置に調節する必要があります。

Sara Plus の使用方法

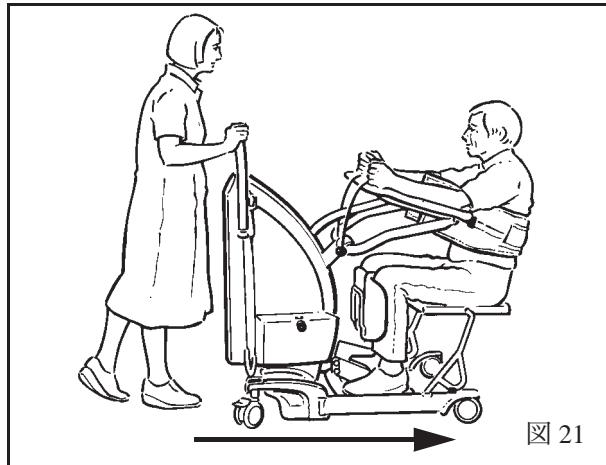


図 21

9. ブレーキを解除して、患者を新しい場所（トイレ、車椅子、チェア、ベッド等）に移動します。

注記: 移動はシャーシ脚部を閉じた状態で行ってください。出入り口などが通りやすくなります。
図 21 に示す方向へ常に移動させてください。

10. 患者を持ち上げている間、再び下降させる前に必要に応じて衣服、失禁パッド等整えてください。

11. **警告:** トイレに患者を残す場合、あるいは患者から離れる場合は、シャーシにブレーキをかけてください。

ハンドコントロールまたはデュアルコントロールパネルを用いて患者を慎重に下降させてください。

12. **警告:** 患者がスリングによって支えられている間は、サポートベルトを取り外さないでください。

患者が座った状態で、患者からスリングを取り外します。

1. 各コードをロック用止め具から引っ張り出し、コードを十分に緩めてループロック留め具を開放してから、コードをスリングから外します。

2. フックとループストラップの重なりをはがし、またはバックルをゆるめて、サポートベルトを外します。

13. **警告:** 患者が不安定な座位姿勢でベッドサイドに座っている場合、スリングを外すとき、二人の介助者で患者をサポートする必要があります。

患者からスリングを取り外してください。

14. 装着されている下脚部ストラップを取り外してください。

移乗/歩行スリングを使用した移乗方法 (16 ステップ)

(患者の最大体重: 140 kg - 308 lb)

1. スリングの各脚部セクションにある取り付けストラップを確認して、右側の取り付けコードを左側のストラップに取り付け、反対側も同じようにコードを取り付けます。（コードの取り付けについては、図 22 および図 17 を参照してください）

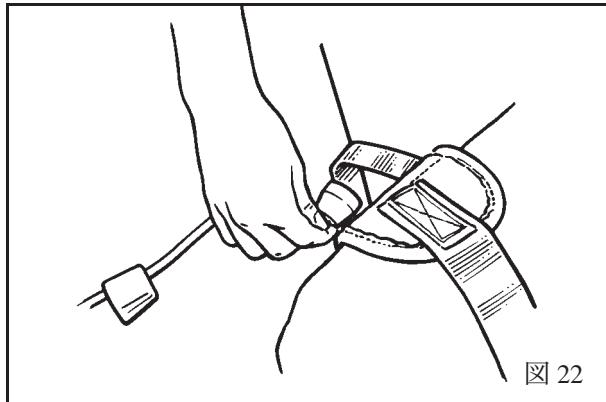


図 22

2. 両方のコードを正しく取り付け、コードの緩みを取るために両方のコードを均等に調節します。

3. **警告:** 取り付けコードをコードロック用止め具にロックしてください。

取り付けコードをコードロック用止め具にロックしてください。（図 23 参照）



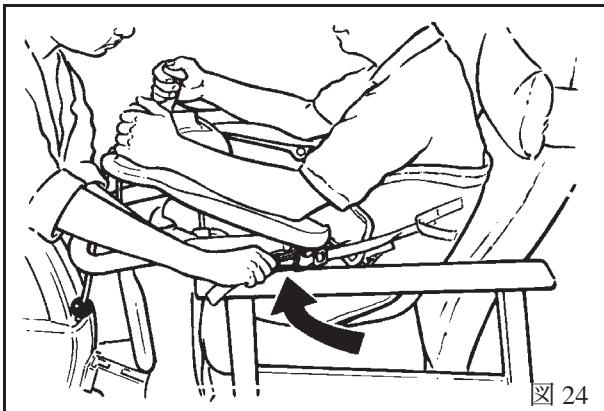
図 23

4. スリング（プラスチック取り付けクリップが付いている）の両側にある取り付けストラップを確認して、両方のストラップを最大長になるよう調節します。

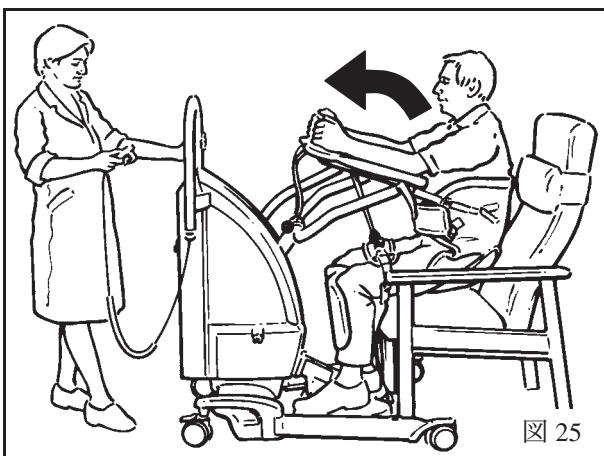
Sara Plus の使用方法

5. **警告:** 各クリップを正しく取り付けて、ラグに固定してください。

各クリップをアーク・レストの外側にあるラグに取り付けます。(図 24 参照)



6. アーク・レストに両腕を置かせて、患者にハンドグリップを握らせてください。
7. 各固定ストラップにテンションが発生し、患者の背中がチェアから離れるまで、ハンドセットまたはデュアルコントロールパネルにあるリフトボタンを押し続けて患者を持ち上げます。(図 25 参照)

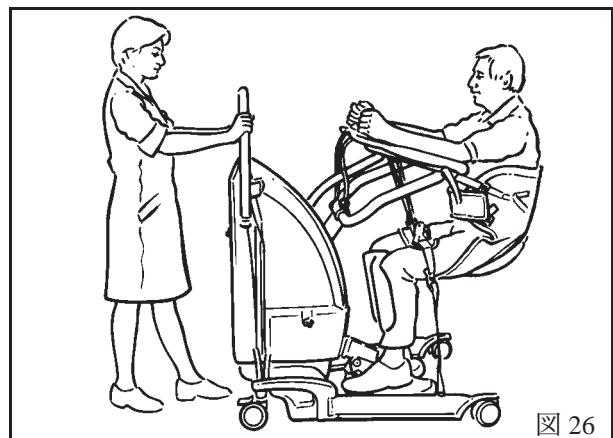


8. 両方のコードを均等に調節して緩みを取り、ロック用止め具にロックしてください。
9. 患者がシートから離れるまで持ち上げを続けます。患者が不快さを感じた場合、患者を座位姿勢に戻して再調節します。

10. **警告:** 持ち上げサイクル開始前および開始中は、取り付けコードと、取り付けコード上のクリップが適切な位置に固定され、患者の体重が徐々に掛かるにつれて引っ張られることを確認してください。

持ち上げサイクル開始前および開始中は、取り付けコードと、取り付けコード上のクリップが適切な位置に固定され、患者の体重が徐々に掛かるにつれて張りを失わないよう確認してください。

11. 移乗用スリングの快適性が失われるため、患者を過剰な高さまで持ち上げないようにしてください。
12. シャーシブレーキを解除し、シャーシ脚部を閉じて、次に患者を希望する場所に移動します。(図 26 を参照)



注記: 移動はシャーシ脚部を閉じた状態で行ってください。出入り口などが通りやすくなります。

13. **警告:** 患者から目を離す場合は、シャーシにブレーキをかけてください。

ハンドコントロールまたはデュアルコントロールパネルを用いて患者を慎重に下降させてください。

14. **警告:** 患者がスリングによって支えられている間、ストラップやコードを解放しないでください。

患者が座った状態で、患者からスリングを取り外します。

1. 各コードをロック用止め具から引っ張り出し、コードを十分に緩めてループロック留め具を開放してから、コードをスリングから外します。

2. フックとループストラップの重なりをはがし、またはバックルをゆるめて、サポートベルトを外します。

15. 患者からスリングを取り外してください。
16. 装着されている下脚部ストラップを取り外してください。

Sara Plus の使用方法

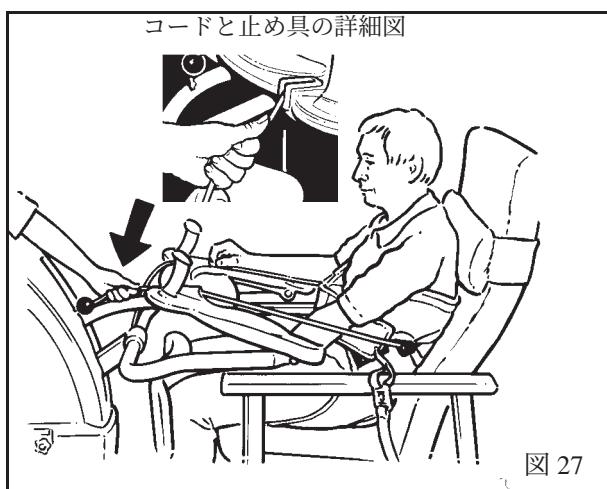
移乗/歩行スリングを使用した歩行訓練方法 (12 ステップ)

(患者の最大体重：190 kg - 420 lb)

- スリング本体の両側にある取り付けストラップを確認して、コードを取り付けます（図 17 に示すループロック方法を参照）。両方のコードを正しく取り付けたら、コードの緩みを取るために両方のコードを等しく調節します。但し、患者を前方に引っ張らないでください。

- 警告：**取り付けコードをコードロック用止め具にロックしてください。（図 17 参照）

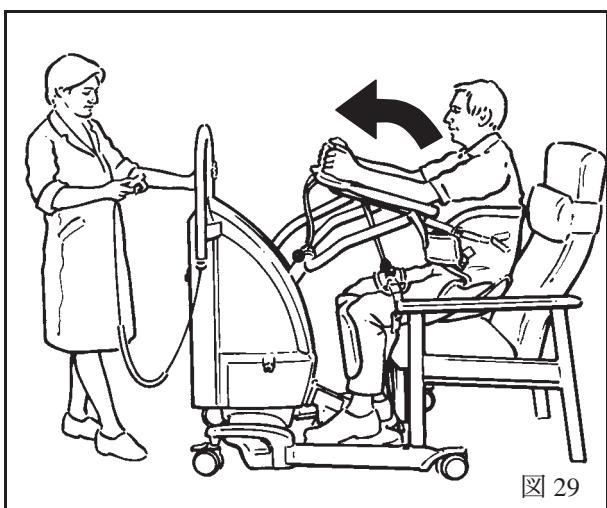
取り付けコードをコードロック用止め具にロックしてください。（図 27 参照）



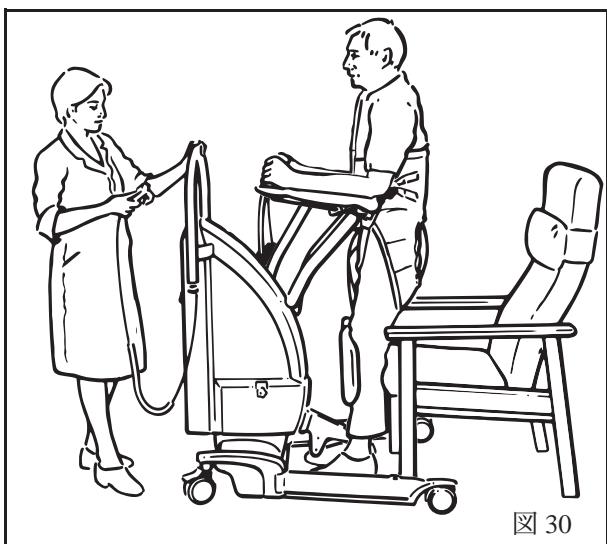
- アームレストに両腕を置かせて、患者にハンドグリップを握らせてください。
- アームレストの外側にあるラグに取り付けクリップを接続できるよう、（必要に応じて）各ボディ取り付けストラップを調節して緩めます。（図 28 参照）



- 患者の準備が整ったら、ハンドセットまたはデュアルコントロールパネルにあるリフトボタンを操作して患者を持ち上げ、積極的に立ち上がるよう患者をサポートしてください。（図 29 参照）



- 患者が立位姿勢で快適に支えられるまで、アーク・レストの上昇を続けてください。（図 30 参照）



- 歩行訓練を開始する際は、患者が適正かつ快適に支えられていることを確認し、ストラップの緩みを取って、適正なサポートが得られるように取り付けストラップを均等に調節し、必要に応じてアームレストも調節してください。
- 患者がしっかりと立っている場合、ブレーキを解除して、プロアクティブ パッドが患者の脚から離れるまで、リフトを患者から少し引き離します。（図 31 参照）

Sara Plus の使用方法

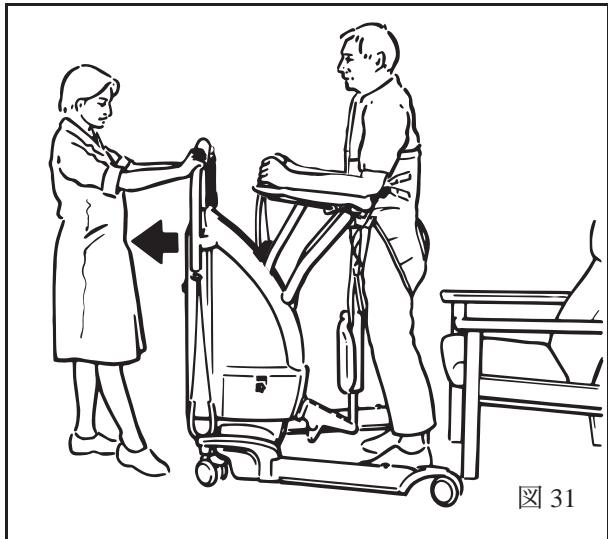


図 31

9.



警告: プロアクティブパッドのアセンブリを取り外す際は、機器の使用を始める前にアタッチメントブラケットも外してください。取り外しをしない場合、深刻な怪我を引き起こす恐れがあります。

シャーシブレーキを再びかけて、アタッチメントブラケット付きのプロアクティブパッド全体を上へ慎重に持ち上げて取り外し、今後使用できるよう大切に保管します。
(図 32 参照)

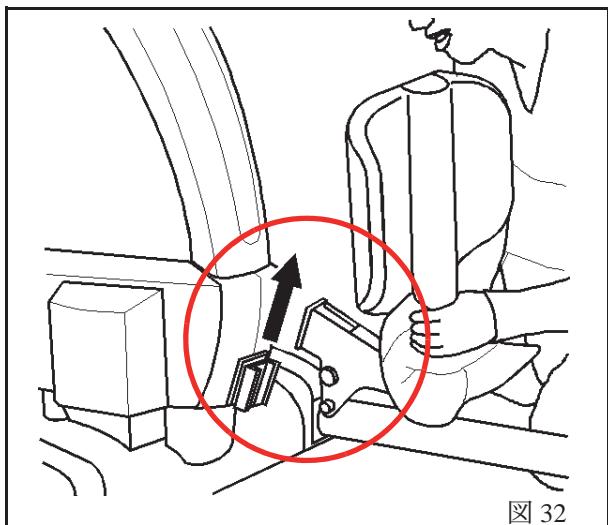


図 32

注記: 患者に余裕のあるスペースを与えるために、シャーシ脚部を広げることができます。

注記: 「直線」ステアリングロック（装着時）を、必要に応じて追加エイドとしてリアキャスターに使用できます。

10. プロアクティブパッドを外してブレーキを解除することで、患者は、Sara Plusによって支えられながら、自分自身のペースで歩行訓練ができるようになります。（図 33 参照）



図 33

注記: 脚の屈曲動作を良くするには、脚部ストラップを少し緩める必要があるかも知れません。これにより脚の動作の自由度が増します。

11.



警告: 患者が座っていて完全に支えられているときを除いて、取り付けコードを緩めたり取り外したりしないでください。
患者の歩行を始める前に、歩行経路に障害物がないことを確認してください。



警告: プロアクティブパッドを再び取り付ける際は、パッドの再挿入、再締め付けを確実に行って、サポートブラケットをカバーしてください。取り外しをしない場合、深刻な怪我を引き起こす恐れがあります。

歩行訓練が完了したら：

1. シャーシにブレーキをかけます。
 2. プロアクティブパッドを交換します。
 3. 患者を椅子に戻します。
12. 患者が完全に支えられているときに、取り付け手順を逆に行って、スリングを取り外します。

体重計「Arjo スケール」（オプション）

体重計を使用するには、体重計の取扱説明書を参照してください。

バッテリー使用上の注意



警告: バッテリーの充電は患者がいる環境から離れた場所で実施するようにしてください。

充電装置は屋内でのみ使用できます。

充電装置は乾燥した環境のみで使用し、風呂場での使用は避けてください。

充電装置またはバッテリーパックを雨や噴霧にさらしたり、水につけたりしないでください。

充電装置を埃にさらさないでください。

過熱しないよう使用中の充電装置は覆わないでください。

バッテリー周辺で喫煙したり火気を近づけたりしないでください。

充電装置では、Arjo が *Sara Plus* 用として供給するバッテリーのみを使用します。

充電装置では、密閉型の鉛酸蓄電池のみを使用できます。

いかなる状況においても、充電装置では非充電型バッテリーを充電しないでください。

いかなる方法でも充電装置を分解しないでください。修理はすべて製造元に送付して行われるものとします。

電源ソケットへは、容易にアクセスできるようにしなければなりません。故障が発生した場合は、スイッチをオフにしてソケットから接続プラグを外してください。

バッテリーの充電時には、当該目的用に特別にデザインされた Arjo コンポーネントのみをご使用ください。

Sara Plus 用として供給される Arjo バッテリーのみを使用してください。

Sara Plus に同梱の Arjo 充電器のみを使用してください。

バッテリーを火気にさらしたり、火中に投じないでください。

バッテリーをショートさせないでください。

バッテリーは気温が60°C(140°F)を超える場所に保管しないでください。

初めて充電するバッテリー、または長期間保存後のバッテリーは、充電器がフル充電を示すまで充電する必要があります。



警告: バッテリーを圧壊、破裂、分解、解体したり、機械的な緩衝を加えたりしないでください。

バッテリーのケーシングに亀裂が入り、電解液が皮膚や衣服に接触した場合は、直ちに水洗いしてください。

電解液が目に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医者の治療を受けてください。

バッテリーを廃棄する場合は、当該地方自治体のアドバイスを受けてください。

リサイクルの分別箱シンボルおよびごみ箱シンボルの近くに記された略記「Pb」は、元素記号「鉛」のことです。バッテリーには鉛が含まれていること示しますので、通常のごみと同様の方法で破棄することはできず、リサイクルされる必要があります。

注記: 長期間使用されないことが予想される場合、バッテリーをリフトから取り外してください。

バッテリー放電インジケータ

Sara Plus にはバッテリー残量インジケータが付いています。これはカバーの右側にあります。
(7ページ「部品名称」セクションの図2を参照)

ディスプレイにはバッテリー状態が8つのレベルで表示されます。レベル数が大きいほど、充電レベルが高いことを意味します。

注記: バッテリー放電インジケータにはエネルギー節約機能があり、機能ボタンを60秒間操作しなかった場合、ディスプレイは自動的にオフになります。いずれかの機能を操作するためにボタンを押すと、ディスプレイがリスタートします。

ディスプレイ上のバッテリーレベルが3セグメントになりブザーが10秒ごとに1回鳴ったら、バッテリーをリフトから取り外して充電することを推奨します。リフティングは、ディスプレイに1セグメントが充填されて表示され、すべてのボタンが押されるとビープ音が頻繁に鳴り、すべてのボタンが解放されてから2秒後まで実行することができます。この場合、バッテリーはできる限り早く充電するようにしてください。

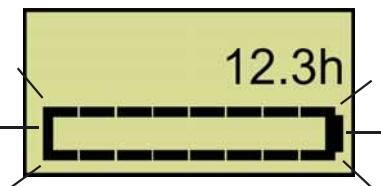
バッテリー使用上の注意

バッテリー充電が低い状態になるか完全に消耗する前にバッテリーパックを再充電しておくと、バッテリーの寿命を延ばすことができます。

Sara Plus を常に使用できる状態にしておくために、充電したばかりのバッテリーパックをそろえておくようお勧めします。バッテリーパックを余分に購入しておけば、1組を使用している間にもう1組を充電できます。

各ワークシフトの開始時には常に新しく充電されたバッテリーを用意しておくようにするとよいでしょう。

バッテリーの想定寿命は充電のやり方、間隔等によって変化し、通常は2～5年です。バッテリーの想定寿命を延ばすには、充電器がフル充電を示すまでバッテリーを一定間隔で充電する必要があります。充電は一晩で完了します。



バッテリー表示が点滅している場合、バッテリーは消耗していると考えられます。自治体のガイドラインに従って、バッテリーを交換およびリサイクルしてください。新しいバッテリーを取り付けます。

動作中に、バッテリー表示バーが、高充電状態から1本またはゼロの状態に低下した場合は、バッテリーが劣化し始めています（ただし、バッテリーは、完全に放電されるまで使用できます）。バッテリーを交換し、完全に充電します。バッテリーが空になったことを知らせるブザー表示は、すべてのボタンを放した後、2秒間です。

バッテリーの充電方法 (9ステップ)

バッテリー放電インジケータが3セグメントになつたら、リフト操作を完了させてバッテリーパックを取り外します。

1.  **警告：**バッテリーを落として損傷を与える、怪我をする人が出ないようにしっかりと握ってください。

バッテリーのグリップを掴んで、上のリリースキャッチを押します。バッテリーを取り外し、持ち上げます。

2. バッテリーを充電器に移動させ、バッテリーがしっかりと固定されていることを確認します。

3. 充電器のバッテリーコネクタをバッテリーのコネクタに挿入します。

注記: 主要電源と充電器を結ぶケーブルは、取り外し可能なパートとして供給されています。最初に充電器を使用する場合またはケーブルが充電器から外されていた場合は、ケーブルを主電源に接続する前に充電器にしっかりと接続してください。

4.  **警告：**充電器とバッテリーに取り付けるケーブル接続プラグが十分深く挿入されているか常に確認してください、主要電源のスイッチを入れます。

主電源を入れます。

バッテリーが完全に放電すると、充電器にオレンジ色のランプがつきます。バッテリーの充電状態がいっぱいになると、これが黄色に変わり、充電が完了した時点で緑色になります。

5. 充電器がフル充電を示すまでバッテリーを充電します。

注記: バッテリーパックは完全に充電された後も、トリクル充電で充電器に接続した状態が可能です。これにより、バッテリーを常に満充電の状態に維持できます。

6. バッテリーパックの充電が終了したら、主電源を切ります。
7. バッテリーパックを充電器から取り外します。
8. リフトの左側にある*Sara Plus* バッテリー位置に挿入します。
9. バッテリーの底にあるくぼみをバッテリー収納部の底にある突起部に合わせて、バッテリーを所定の位置に取り付けてください。電気的接続は自動的に実施されます。



注意： 使用後は、赤の電源オフボタンを押してホイストをオフにしてください。これにより電力消費を減らすことができます。

洗浄と消毒

リフトの一般的なお手入れ

以下の措置を実施する頻度は、機器の使用頻度に応じて異なります。「ケアと予防メンテナンス」セクションの「メンテナンス計画」を参照してください。

特に指定がなければ、1週間に1回実施して、その後は充電サイクルを元に決めてください。



警告：

Arjo のペイシェントリフト、設備機器、アクセサリおよびスリングは定期的にクリーニングするよう推奨します。スリング、リフトおよび設備機器にクリーニングが必要な場合、または汚染の疑いがある場合、当該機器を再使用する前に、下記の推奨されるクリーニングおよび/または消毒を行ってください。これは、同一機器が別の患者に使用されるときの交差感染の危険性を最小化するために特に重要です。



警告：クリーニング製品および消毒製品は、製造業者の指示に従って使用してください。消毒薬を取り扱う場合は常に、目や手、衣服の保護用具を着用しなくてはなりません。

洗浄

リフトを清掃するときは、機器とアクセサリを、中性洗剤を加えた温水を使用して湿らせた布で拭き取ります。埃や汚れがたまる部分は特に注意して掃除してください。



警告：リフトは別の患者が使用する前に、クリーニングする必要があります。



注意：電動コンポーネントまたは内部に錆などの問題の起こす恐れのある製品箇所は過剰に濡らすことがないように注意してください。

熱風乾燥器を使用してリフトを乾燥させる場合には、その温度が 80°C (176°F) を超えてはなりません。

石油ベースの溶剤またはその類似品は、プラスチック部品を破損する恐れがありますので、使用しないでください。

消毒

機器を消毒するには、まず機器を清掃してから、互換性のある次の消毒剤のいずれかを含む溶液で拭いてください。

消毒液	Sara Plus
イソプロピルアルコール ≤ 70%	X ^{1,2}
塩素 ≤ 1% (10,000 ppm)	X ¹
過酸化水素 ≤ 1.5%	X ^{1,2}
過酢酸 ≤ 0.25% (2,500 ppm)	X ¹
フェノール ≤ 1.56% (15,600 ppm)	X ²
第四級アンモニウム ≤ 0.28% (2,800 ppm)	X

¹ 金属むき出しの部品は、イソプロピルアルコール、塩素、過酸化水素、過酢酸と繰り返し接触すると変色することがあります。

² イソプロピルアルコール、過酸化水素、フェノールと繰り返し接触すると、スイッチパネルが変色することがあります。



注意：電気コネクタには消毒薬を使用しないでください。

消毒方法は、医療施設または使用国に応じた地域または国のガイドライン（機器の除染）に準拠する必要があります。ご不明な点は、地域の感染管理担当者にご相談ください。

注記：ワイプで表面を効果的に消毒するには、摩擦をかけてください。

注記：リフトが正常に前進して、キャスターも自由に回転、旋回することを確認してください。水で洗うこと。（床をクリーニングした際の洗剤、髪の毛、ホコリ、化学薬品などが原因で、機能に影響が及ぶ恐れがあります）。

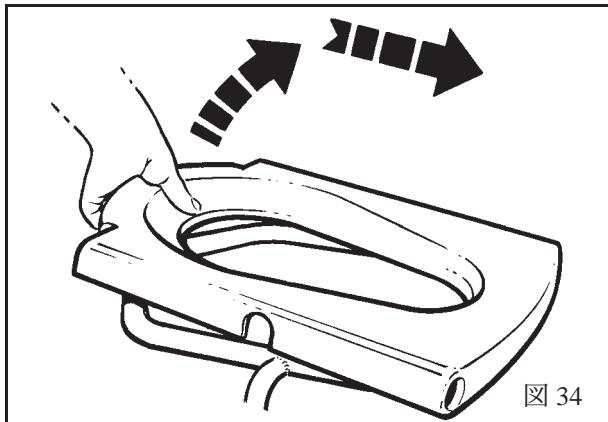
洗浄と消毒

トイレットコモードチェアとフレーム (装着時) のクリーニングと消毒

シートとフレームの外面については、上述の「硬質表面消毒ワイプ」が非常に効果的ですが、機器の内部や凹部については、通常のクリーニングおよび消毒規定に従ってシートとフレームをクリーニングすることを Arjo は推奨します。

便座シートの取り外し方法 (2 ステップ)

1. 後端を真上に引き上げて、位置決めラグを外します。
2. フレームチューブとリフトから離れるまで、シートを少し前にスライドさせます。
(図 34 参照)



コードのクリーニングと消毒 (2 ステップ)

1. 接続コード、ループおよびロックアセンブリを洗浄するには、中性洗剤を加えた温水を湿らせた布で拭きます。

注記: 洗浄後、取り付けコードに汚れが残っている場合は、有資格担当者がコードを交換する必要があります。

2. コードとループおよびロックアセンブリを、互換性のある消毒剤のいずれかを含む溶液で拭いて消毒します (20 ページの表「消毒剤」を参照)。

便座シートの取り付け方法 (3 ステップ)

1. シートフレームチューブ上のシート穴を確認します。
2. 位置決めラグをシートフレームの後部クロスバーに合わせます。(図 35 参照)

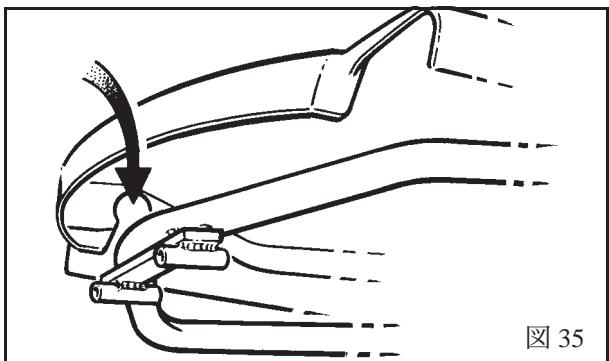


図 35

- 3.



警告: 患者に使用させる前に、シートが安全であることを常に確認してください。

シートが所定の位置に「カチッ」と収まるまで、位置を調整してください。(図 36 参照)

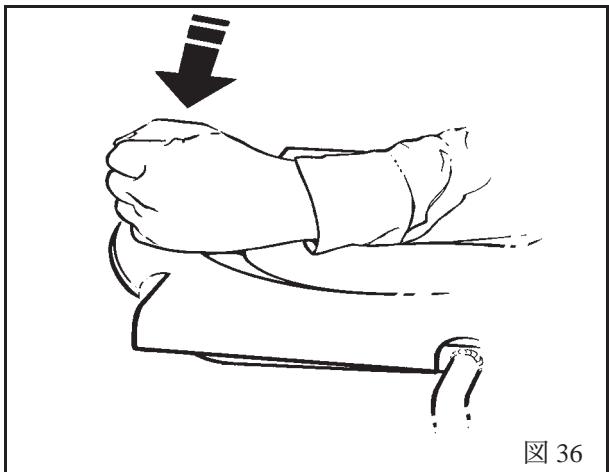


図 36

点検・保守及びメンテナンス

Sara Plus は劣化、消耗するものであり、製品をメーカー仕様に維持するようにと明記してある場合、以下の措置を適宜講じる必要があります。



警告：本チェックリストのポイントは、メーカーからの最低限の奨励内容です。製品の酷使および苛酷な環境に晒している場合などは、さらに頻繁な点検を実施してください。定期点検をしなかつたり、不具合を発見した以降も本製品を継続使用すると、ユーザーや入所者の安全を大きく損なう恐れがあります。国内規制および規格は、メーカーのそれよりも優先します。本マニュアルに明記してある予防メンテナンスで、事故を防げます。

注記：患者が製品を使用中であるときは、製品の保守や修理をすることができません。

予防保守計画

処置 / 点検	患者間	毎回の使用前	毎週	12ヶ月に1回
介助者の義務				
クリーニング / 消毒	X			
必要に応じてスリング、ストラップおよびクリップの破損や摩損を点検してください。スリングの取扱説明書を参照してください。		X		S
露出表面の破損、鋭角な部分がないか目視点検してください。			X	
スリングフックを目視確認します。破損している場合は使用しないでください。			X	
すべてのラベルが貼付されていることを確認してください。			X	
ハンドグリップがしっかりと固定されていることをチェックしてください。 必要に応じて固定し直してください。		X		S
充電装置およびワイヤの完全性および接続を点検します。				S
<i>Sara Plus</i> はフル装備で操作してください。			X	
ハンドセットおよびケーブルの破損を目で検査確認します。			X	
<i>Sara Plus</i> の全機能テストを実行します。			X	S
停止 / リセット用スイッチとシステム下降オーバーライドスイッチの動作をそれぞれ検査確認します。			X	S
バッテリーの漏れおよび（または）劣化を検査確認します。必要に応じて置換します。			X	S
すべての備品、ネジ、ナットが堅固に固定されていることを確認します。			X	S
すべてのキャスターのチェックおよび清掃します。必要に応じて交換します。			X	S
カバーが正しく取り付けられていて、破損していないことを検査確認します。 必要に応じて交換します。			X	S
錆の兆候などを確認します。必要に応じて交換します。			X	S



警告：サービスマニュアルを参照しながら、「S」の付いている措置を正しい工具の使用と手順の知識を前提に有資格担当者によって実施する必要があります。これらの要件を満たさないと、ケガをしたり安全性を欠いた製品となる恐れがあります。



警告：*Sara Plus* に対する不正な改造と修理は、製品の安全性に影響を及ぼす可能性があり、保証は無効になります。そのような修理や改造の結果生じる、いかなる事故や性能の不具合に対してもアルジョは一切責任を負いません。

本製品の安全性を維持するには、Arjo 指定の交換部品のみを常に使用してください。

点検・保守及びメンテナンス

毎回の使用前

使用前にバッテリーが充電されているか確認します。充電が不十分な場合、完全に充電されたものと交換してください。

必要に応じて、各患者が使用した後に、本取扱説明書ならびに地域の規制に従って、*Sara Plus* の汚染除去を行ってください。

毎日

バッテリーパックが十分充電されているか確認します。各業務シフトの終わりに、あるいはバッテリー放電インジケータによりバッテリー不足が表示されて警告音が鳴っている場合、バッテリーを充電してください。本取扱説明書のバッテリーの充電を参照してください。

下降オーバーライドつまみが時計方向一杯に回して、手で締め付けてください（締めすぎないこと）。

使用前と使用後に毎回、スリングアタッチメントコードとループバックアセンブリを目視点検してください。摩損、損傷、目に見える汚れ、汚れのある部品は交換する必要があります。

毎週

寿命を延ばすために、充電器が満充電を示すまで定期的にバッテリーを充電してください。「バッテリーの使用説明」のセクションを参照してください。

一般的なリフト条件

一般的な外観を検査して、適正に作動するか全機能のテストを行い、使用中に有害な破損が発生していないか確認します。

- キャスターがすべてスムーズに回転し、2つのリアブレーキが作動することを確認してください。取り付けられている場合、直線ステアリングガイドがリアキャスターを正常にロックすることを確認してください。
- キャスター取付ピンがシャーシとその脚部に固定されているか、また、キャスターのトレッドが破損していないか確認してください。
- シャーシ脚部を開閉して、全可動域を円滑に動くことをチェックします。
- ハンドセットとそのケーブルの状態を点検します。破損している場合は交換する。
- すべての外部取付金具が固定され、ネジやナットがすべて締まっているか確認してください。
- ハンドグリップが固定されていることを確認し、必要に応じて締めなおしてください。
- ループロックアセンブリとコーンつまみ内の結びが完全であることを確認してください。
- 上部リフトのフロントクレビスピングを固定しているネジがしっかりと締め付けられていることを確認してください。
- アーク・レストのコードロック用止め具を固定しているネジがしっかりと締め付けられていることを確認してください。
- すべての指示ラベルがしっかりと貼付され、判読

可能か確認してください。

- すべての露出部分、特に患者の身体が接触する部分を点検します。患者や介助者に怪我をさせたり、不衛生な状態を招いたりするクラックや鋭利な角がないことを確認してください。必要に応じて交換します。
- フットサポートを外して交換できること、そしてフットサポートのフックとフットブラケットアセンブリのロケーションピンが破損していないことを確認してください。

自動停止機能

アーク・レストがその最低位置から十分上にある状態で、アーク・レストを下降させて、同時にアーク・レストを少しの間、手で持ち上げます。アーク・レストの重量が保持されている間、モーターは作動し続けます。以上のようにして自動停止機能の正常に作動することをチェックします。

緊急停止

アーク・レストを作動させて緊急停止機能をテストします。緊急停止ボタンを押してください。
(7ページ「部品名称」セクションの図2を参照)
動作が直ちに止まるはずです。



警告：*Sara Plus* の適正な機能に疑いがある場合は、本機器の使用を停止し、Arjo サービス部門に連絡をとってください。

サービスに関するアドバイス



警告：Arjo は、*Sara Plus* のメンテナンスを定期的に行うようお勧めします。本取扱説明書の保守・メンテナンス計画を参照してください。



警告：UK 向けリフトのみ：1998年12月5日に重要な法律が施行されました。これは患者用リフト、様々な高さの風呂、その他の昇降機器の点検整備計画に影響を与えるものです。責任者は 1998 年リフト操作およびリフト機器に関する法令(LOLER)と作業機器の提供と使用に関する法令(PUWER 98)に従う必要があります。また、6回の徹底的な調査を毎月実施するよう法令で義務付けられています。詳細については、Arjo Service UK までお問い合わせください。

部品リストおよび回路図が必要な場合は、Arjo または指定代理店までご連絡ください。

交換部品は必要に応じて Arjo またはその指定代理店からご入手いただけます。

特定のコンポーネントを交換する際には特殊なツールが必要です。

トラブルシューティング

問題の内容	想定される原因	対処法
<i>Sara Plus</i> を購入したばかりだが全く動作しない。	電源オフボタン（赤）がまだ作動している。	緑のリセット / 電源オンボタンを押して、電源オフボタンを解除してください。 緊急停止ボタンが押されていないことを確認します。
<i>Sara Plus</i> が通常より遅く上昇および下降している。	バッテリー電力レベルが低い。	バッテリー放電インジケータを確認します。これはバッテリーの電力レベルを示します。 疑わしい場合、バッテリーを完全に充電したものと交換して、パフォーマンスを比較してください。 低バッテリー電力レベルの場合、 <i>Sara Plus</i> のバッテリーを完全に充電したものと交換してください。
ハンドコントロールを操作しても、 <i>Sara Plus</i> は上昇、下降せず、シャーシ脚部も開閉できない。	ハンドコントロールが破損している。	マストにある上昇 / 下降コントロールで <i>Sara Plus</i> 動作させてみてください。これで機器が正常に動作する場合、ハンドコントロールを交換してください。
ハンドコントロールや上昇 / 下降コントロールを操作しても、 <i>Sara Plus</i> は上昇、下降せず、シャーシ脚部も開閉できない。	コントロール回路あるいはアクチュエータの不具合。	Arjo 販売代理店あるいは Arjo 事業所に連絡してください。
いずれかのボタンを押すと、「Overload」が時間 / サイクルメータに表示され、ブザーが 1 秒に 2 回鳴り、 <i>Sara Plus</i> は作動しません。	要求された動作がブロックされるか、 <i>Sara Plus</i> が終了位置に達しています。	障害物を除去して、移動を継続する前に損傷がないか <i>Sara Plus</i> を完全にチェックしてください。 疑わしい場合、下降オーバーライドを使用して入居者を安全な座位姿勢に戻して、 <i>Sara Plus</i> を使用場所から除去してください。Arjo 認定サービス担当者による安全使用のための点検と承認が終了した場合にのみ、機器の使用を再開してください。 終了位置に達したために過負荷が発生した場合は、望ましい動作と見なされます。

トラブルシューティング

問題の内容	想定される原因	対処法
ホイストが予期しない動きをする。	ハンドコントロール、押しボタンあるいは電子部品の故障。	ボタンの開放がうまく機能しない場合：緊急停止ボタンを押して、バッテリーをホイストから外してください。疑わしい場合、システム故障時の下降オーバーライドを使用して患者を安全な座位姿勢に戻して、 <i>Sara Plus</i> を使用場所から除去してください。 Arjo 認定サービス担当者による安全使用のための点検と承認が終了した場合にのみ、機器の使用を再開してください。
「Overheat」が表示されて、ブザーが 15 秒ごとに 2 回鳴る。	アクチュエータデューティサイクルを超えている(2 分 ON/18 分 OFF)。	運転を終了させて、18 分お待ちください。これによりアクチュエータの破損を防止できます。
<i>Sara Plus</i> を上方向に動作させることができず、モーターの音がはっきり聞こえる。	下側オーバーライドノブが完全に締まっていません。	下側オーバーライドノブを時計方向に締めます。
電源投入時にディスプレイが起動しない。	どちらかのコントロールパネルで、いずれかのボタンが押されているか、またはどちらかのコントロールパネルが故障しています。	いずれかのボタンが押されていないか確認します。押されていない場合は、Arjo の担当者または Arjo の認定を受けたサービスエンジニアに連絡してください。

技術仕様

患者の重量

全スリング - スリングラベル上の安全耐荷重を確認してください

	kg	lb
安全耐荷重	190	420
リフトまたはキャリー時の最大体重制限（立位スリング使用時）	190	420
持ち上げまたは持ち運びの最大耐荷重（移乗 / 歩行スリングを歩行訓練にのみ使用する場合）	190	420
持ち上げまたは持ち運びの最大安全耐荷重（移乗 / 歩行スリングを移乗にのみ使用する場合）	140	308
キャリー時の最大安全耐荷重（トイレットコモードシートおよびフレーム使用時）	190	420

製品重量

	kg	lb
サラ プラス - 体重計なし（完成品 - バッテリーなし）	73.8	162.7
Sara Plus - 体重計付き（完成品 - バッテリーなし）	82.9	182.8
Sara Plus - 体重計付き（完成品 - 体重計およびバッテリー装備）	88	194
リフトの最大合計重量（リフト + 患者）	278	614
バッテリー	4.9	10.8
コモードシートとフレーム（オプション）	4	8.8
コモードパンとホルダー（オプション）	1.2	2.6
フットサポート	5	11

技術仕様

電池の型と部品番号	（充電式鉛蓄電池） : SPL3021	
バッテリー容量：	6 Ah	
バッテリー充電器部品番号： (注記：**は国コードを示します)	SPL3024**	
ヒューズ	15 A (熱動過電流遮断器)	
ヒューズ - PCBA	20 A	
ヒューズ - バッテリー	30 A	
リフト保護等級	IP 24	
ハンドコントロール保護等級	IP X7	
リフト公称電圧：	24 V DC	
コントロールの操作力	< 5 N	
IP n ₁ n ₂ 記号は、固体微粒子(n ₁)と液体(n ₂)に対する防水防塵保護等級を示します。 2 : 12.5 mm 以上の固形粒子（指や類似の物体）の侵入に対する保護。 4 : 液体侵入に対する保護 - この筐体にどこから水がかかっても影響を及ぼしません。		

技術仕様

技術仕様

	デューティサイクル	最大電圧	最大電流
マストリフトアクチュエータ (密閉型電動油圧ユニット)	10% (2分/18分)	24 V	20 A
「V」シャーシアクチュエータ (密閉型電動油圧ユニット)	10% (2分/18分)	24 V	8 A

最大音量出力レベル

ISO 3746 に準拠 (dB re 1pW ± 3dB)	74 dB
-----------------------------------	-------

環境

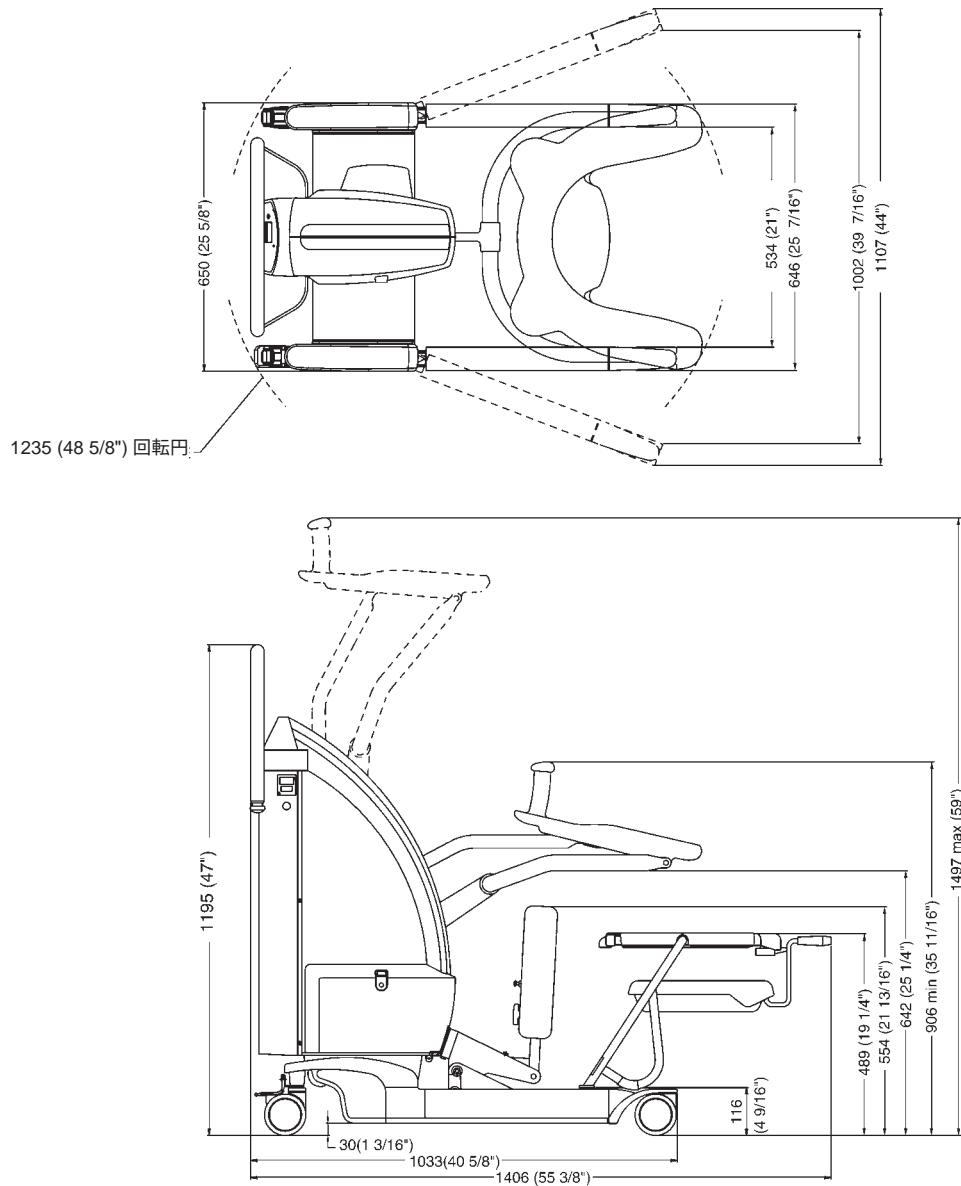
動作、輸送および保管	
温度	+10 °C ~ +40 °C (+50 °F ~ +104 °F)、動作時 -20 °C ~ +70 °C、輸送時 -20 °C ~ +70 °C (-4 °F ~ 158 °F)、保管時
相対湿度の範囲	30% ~ 75%、動作時 10% ~ 80%、結露、輸送および保管を含む
大気圧	800 hPa ~ 1060 hPa、動作時 500 hPa ~ 1100 hPa、輸送時 500 hPa ~ 1100 hPa、保管時

耐用年数後の廃棄方法

- 製品に付属しているすべてのバッテリーは別々にリサイクルしなければなりません。バッテリーは、国または地方条例に従って廃棄してください。
- 電気および電子部品または電気コードがあるリフト関連製品は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。
- スリングバー、レール、レール保持部材のような主にさまざまな金属で構成される部品（重量で 90% 以上が金属）は、金属としてリサイクルしてください。

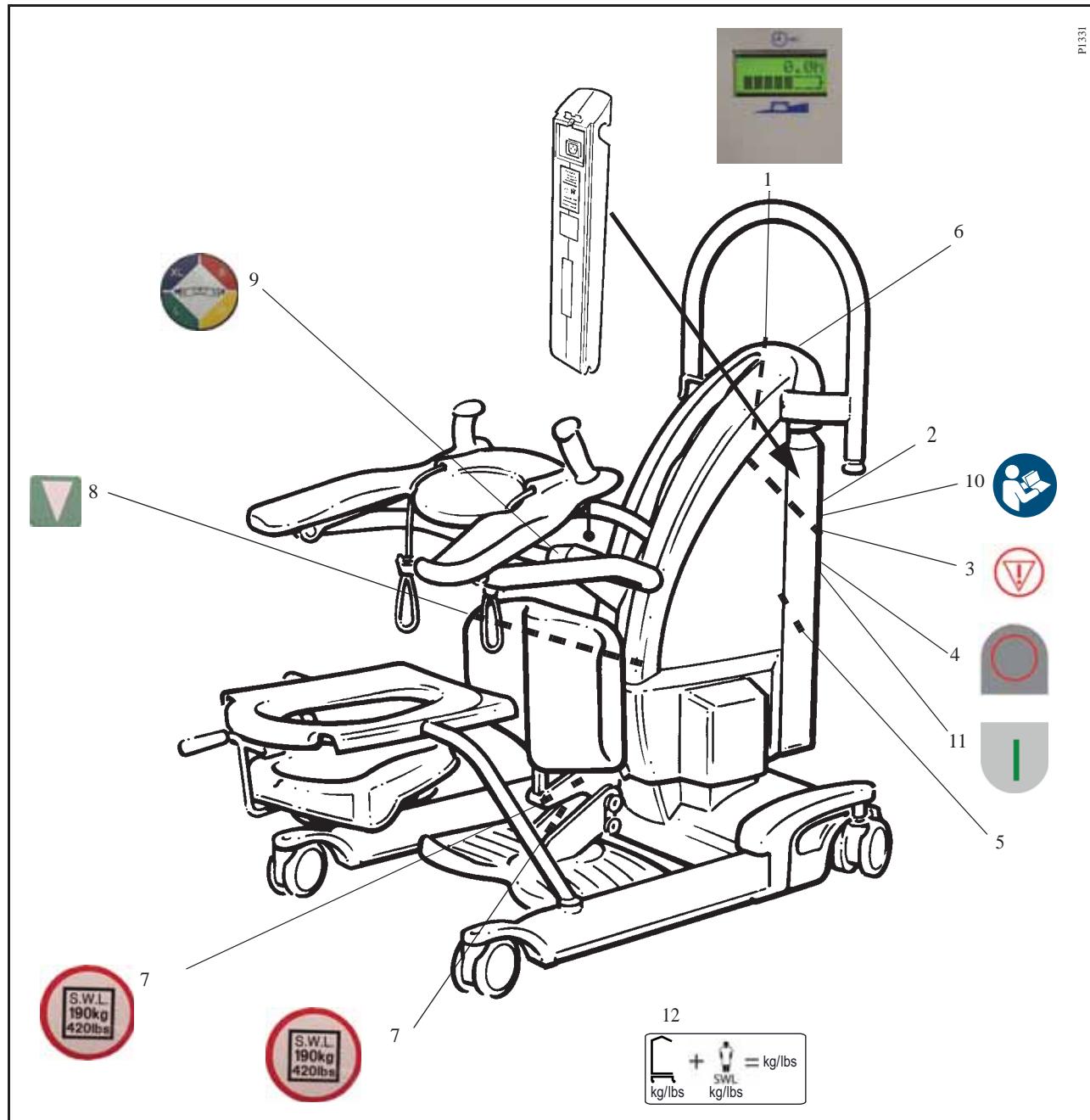
寸法

Sara Plus 寸法



寸法単位はミリメートル（インチ）

Sara Plus のラベル



1. バッテリー放電インジケータと時間/サイクルメータ
2. Arjo ロゴ
3. 緊急停止ボタン
4. 電源オフボタンの識別
5. 場所と安全耐荷重 190 kg (420 lbs)
6. 製品名
7. 安全耐荷重 190 kg (420 lbs)
8. システム故障時の下降オーバーライド ID
9. スリング サイズガイド
10. 使用前に操作説明書を読んでください
11. 電源オン / リセットボタンの識別
12. リフトの最大合計重量

Sara Plus のラベル

記号の説明	
	本取扱説明書を必ずお読み下さい
	バッテリーは本製品の主電源です
	欧洲指令 2012/19/EC (WEEE)に基づき、電気及び電子部品を分別してリサイクルしてください
	リサイクル可
IP 24	保護等級（具体的には、指の挿入や、水の飛散に対する製品の保護等）
	BF タイプ 適用部品：EN/IEC 60601-1に基づく感電に対する保護

 2797	歐州共同体統一法への適合を示す CE マーキング 図は、監督認証機関のトレードマークです
	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した機器であることを示します
	機器の全重量 安全耐荷重を含む
	製造元の名称及び住所
	製造日
	機器固有識別子 (UDI)

電磁両立性

本製品は、外部環境から EMI（電磁干渉）を遮断する能力に関して、現行の規制基準への準拠がテストされています。

一部手順は電磁干渉の軽減に役立ちます。

- ・ 機器の正しい機能を損ないかねない、放射の増加あるいは耐性の減少を回避するため、Arjo ケーブルおよび予備部品だけを使用してください。
- ・ 患者のモニタリングおよび / または生命維持装置などが、電磁エミッション規格に準拠しているか確認してください。



警告：無線コンピューターネットワーク装置、携帯電話、コードレス電話およびその基地局、トランシーバーなどの無線通信機器は、本製品に影響を与えることがあるため、製品から少なくとも 1.5 m の間隔を置いて配置する必要があります。

意図された環境：在宅医療環境および専門医療施設環境。

例外：磁気共鳴映像法用 ME システムの高周波手術器具および RF シールドルーム。



警告：本製品を他の機器に隣接して、または他の機器と積み重ねて使用すると、誤作動することがあります。このような使用法が必要な場合、本製品と他の機器を観察して、正常に作動しているか、まず確認してください。

ガイダンスとメーカーの申告 – 電磁界エミッション		
エミッション試験	コンプライアンス	ガイダンス
RF 放射 CISPR 11	グループ 1	本製品はRFエネルギーをその内部機能のためにのみ使用します。従って、そのRFエミッションは非常に低いため、近隣の電気機器に影響を及ぼしにくくなっています。
RF 放射 CISPR 11	クラス B	本製品は家庭用施設、および家庭用に使われる建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。

ガイダンスとメーカー申告 – 電磁環境耐性			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 – ガイダンス
静電気放電 (ESD)	±2kV、 ±4kV、 ±8kV、 ±15kV 気中	±2kV、 ±4kV、 ±8kV、 ±15kV 気中	床はフローリング、コンクリートあるいはセラミックタイルにしてください。床が合成材で覆われている場合、相対湿度は最低 30% である必要があります。
EN 61000-4-2	±8kV 接触	±8kV 接触	

電磁両立性

RF 場により惹起された電動妨害 EN 61000-4-6	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、 1 kHz にて	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、 1 kHz にて	通信機の出力電力定格が電磁実地調査で判定される通り、固定 RF 発信機からで磁界強度 1W ^a を超過する場合、携帯及びモバイル RF 通信機器は、ケーブルを含めて本製品のあらゆる部分から 1.0 メートルより近くで使用すべきではありません。固定 RF 送信機からの電界強度は、電磁サイト調査によって決定されている通り、各周波数範囲 ^b のコンプライアンスレベルよりも少ない値にしなければなりません。 この記号が記された機器の近くでは、干渉が生じる可能性があります。 
放射 RF 電磁場 EN 61000-4-3	在宅医療環境 10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、 1 kHz にて	在宅医療環境 10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、 1 kHz にて	
RF 無線通信機器の近接フィールド EN 61000-4-3	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	
電気的ファースト・トランジント/バースト EN 61000-4-4	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	
電力周波数磁界 EN 61000-4-8	30 A/m 50 Hz または 60 Hz	30 A/m 50 Hz	電力周波数磁場は、一般商用または病院環境での典型的な特性レベルである必要があります。

^a 無線（携帯 / コードレス）電話と陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FM ラジオ放送局及び TV 放送局のような固定送信機による電界強度は、理論上、正確に予測することは不可能です。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁実地調査の実施を検討するようにしてください。本製品が使用される場所における測定電界強度が適用される RF 適合性レベルを超える場合は、本製品を観察し、正常な操作を確認する必要があります。異常な性能が認められた場合、追加測定が必要になることがあります。

^b 150 kHz ~ 80 MHz の周波数範囲外にある場合、電界強度は 1 V/m 未満でなければなりません。

！ 注意：強い電磁場の近くで本製品を操作すると、表示される重量測定値が影響を受ける可能性があります。

これらの変更によっても、ユーザーの安全性に影響はありません。

AUSTRALIA

Arjo Australia
Building B, Level 3
11 Talavera Road
Macquarie Park, NSW, 2113,
Australia
Phone: 1800 072 040

BELGIQUE / BELGIË

Arjo Belgium
Evenbroekveld 16
9420 Erpe-Mere
Phone: +32 (0) 53 60 73 80
Fax: +32 (0) 53 60 73 81
E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL

Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
Rua Marina Ciufuli Zanfelice, 329 PB02
Galpão - Lapa
São Paulo – SP – Brasil
CEP: 05040-000
Phone: 55-11-3588-5088
E-mail: vendas.latam@arjo.com
E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA

Arjo Canada Inc.
90 Matheson Boulevard West
Suite 350
CA-MISSIONSSAUGA, ON, L5R 3R3
Tel/Tél: +1 (905) 238-7880
Free: +1 (800) 665-4831
Fax: +1 (905) 238-7881
E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA

Arjo Czech Republic s.r.o.
Na Strzi 1702/65
140 00 Praha
Czech Republic
Phone No: +420225092307
E-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK

Arjo A/S
Vassingerødvej 52
DK-3540 LYNGE
Tel: +45 49 13 84 86
Fax: +45 49 13 84 87
E-mail: dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND

Arjo GmbH
Peter-Sander-Strasse 10
DE-5525 MAINZ-KASTEL
Tel: +49 (0) 6134 186 0
Fax: +49 (0) 6134 186 160
E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA

ARJO IBERIA S.L.
Polígono Can Salvatella
c/ Cabanyes 1-7
08210 Barberà del Valles
Barcelona - Spain
Telefono 1: +34 900 921 850
Telefono 2: +34 931 315 999

FRANCE

Arjo SAS
2 Avenue Alcide de Gasperi
CS 70133
FR-59436 RONCQ CEDEX
Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG

Arjo Hong Kong Limited
Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
HONG KONG
Tel: +852 2960 7600
Fax: +852 2960 1711

ITALIA

Arjo Italia S.p.A.
Via Giacomo Peroni 400-402
IT-00131 ROMA
Tel: +39 (0) 6 87426211
Fax: +39 (0) 6 87426222
E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST

Arjo Middle East FZ-LLC
Office 908, 9th Floor,
HQ Building,North Tower,
Dubai Science Park,
Al Barsha South
P.O. Box 11488, Dubai,
United Arab Emirates
Direct +971 487 48053
Fax +971 487 48072
Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND

Arjo Nederland BV
Biezenwei 21
4004 MB TIEL
Postbus 6116
4000 HC TIEL
Tel: +31 (0) 344 64 08 00
Fax: +31 (0) 344 64 08 85
E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND

Arjo Ltd
34 Vestey Drive
Mount Wellington
NZ-AUCKLAND 1060
Tel: +64 (0) 9 573 5344
Free Call: 0800 000 151
Fax: +64 (0) 9 573 5384
E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE

Arjo Norway AS
Olaf Helssets vei 5
N-0694 OSLO
Tel: +47 22 08 00 50
Faks: +47 22 08 00 51
E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH

Arjo Austria GmbH
Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
A-1230 Wien
Tel: +43 1 8 66 56
Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA

Arjo Polska Sp. z o.o.
ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
PL-62-052 KOMORNICKI (Poznań)
Tel: +48 61 662 15 50
Fax: +48 61 662 15 90
E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL

Arjo em Portugal
MAQUET Portugal, Lda.
(Distribuidor Exclusivo)
Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
PT-1600-233 Lisboa
Tel: +351 214 189 815
Fax: +351 214 177 413
E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ

Arjo Switzerland AG
Fabrikstrasse 8
Postfach
CH-4614 HÄGENDORF
Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI

Arjo Scandinavia AB
Riihitontuntie 7 C
02200 Espoo
Finland
Puh: +358 9 6824 1260
E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE

Arjo International HQ
Hans Michelsensgatan 10
SE-211 20 Malmö
Tel: +46 (0) 10 494 7760
Fax: +46 (0) 10 494 7761
E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM

Arjo UK and Ireland
Houghton Hall Park
Houghton Regis
UK-DUNSTABLE LU5 5XF
Tel: +44 (0) 1582 745 700
Fax: +44 (0) 1582 745 745
E-mail: sales.admin@arjo.com

USA

Arjo Inc.
2349 W Lake Street Suite 250
US-Addison, IL 60101
Tel: +1 (630) 307-2756
Free: +1 (800) 323-1245
Fax: +1 (630) 307 6195
E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN

Arjo Japan K.K.
東京都港区虎ノ門三丁目7 番8 号
ランディック第2 虎ノ門ビル9 階
Tel: +81 (0)3-6435-6401
Fax: +81 (0)3-6435-6402
E-mail: info.japan@arjo.com

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.



ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

arjo

CE
2797